

芦屋市 指定ごみ袋導入等に関する市民アンケート調査結果（郵送）

1. 調査概要

（1）目的

芦屋市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定にあたって、市民の日頃のごみの減量、分別の促進、ごみ捨てマナーに関する意識の向上やルール徹底など、排出の適正化を目指し、指定ごみ袋の導入を検討するにあたって調査を行い、今後の施策検討のための基礎資料とするために実施しました。

（2）調査対象

2,000人

【選定方法】無作為抽出

【抽出条件】市内在住の18歳以上の市民

（3）調査方法

回答は無記名とし、令和3年2月15日～3月15日を調査期間として郵送による配布、回収（別途、webによるアンケートも実施していますが、郵送回答のみを集計しています。）を実施しました。調査期間を超えて返送された調査票についても、集計対象としています。

（4）調査項目

○回答者の属性について

- ・性別、年齢、家族構成、居住地町名、住宅種別

○ごみについての意識や考えについて

- ・ごみ問題への関心度、日ごろの行動、ごみの排出場所、ごみ袋や容器
- ・食品ロスの発生頻度、実践している食品ロス対策、プラスチックのリサイクル

○ごみの分別について

- ・12分別の実施状況
- ・資源ごみのうち燃やすごみとして出すもの、その理由
- ・ごみ捨てルールやマナーの遵守状況と守られていない内容
- ・集団回収への参加状況、集団回収を利用しない理由
- ・店頭回収の利用状況、利用する品目
- ・粗大ごみを家庭ごみステーションに捨てる理由、困ったこと

○指定ごみ袋制度の導入について

- ・指定ごみ袋制度の導入についての考え・理由、指定ごみ袋としてふさわしいもの
- ・指定ごみ袋の導入に反対する理由
- ・指定ごみ袋を導入するうえで考慮すべき項目

○その他の項目について

- ・ごみの分別区分等、ごみの情報を入手する方法
- ・ごみの情報を得るために、もっと充実させたり、必要なもの
- ・販売店で回収してほしい資源ごみ

（5）回収の結果

抽出数： 2,000人

有効回収票数： 954票（※ 郵送回答分のみを集計）

有効回答率： 47.7%

（6）留意点

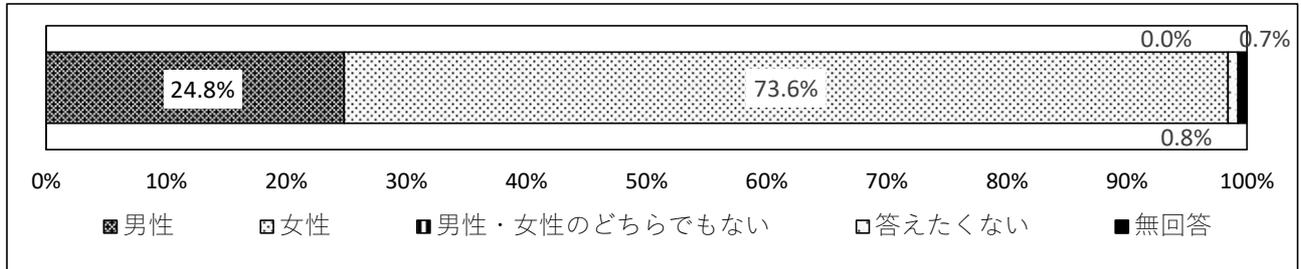
- ・集計では、四捨五入の都合上、数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・グラフ中のNとは、回答者数を表し、無回答を含みますが、無効・除外した回答を含みません。
- ・グラフ中のSAとは単数回答、MAとは複数回答の設問であることを示しています。

2. 調査結果

(1) 回答者の属性

① 性別

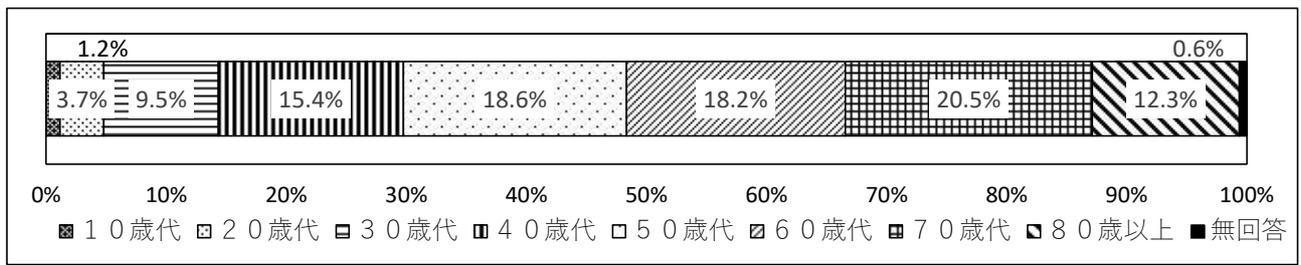
・「女性」が73.6%、「男性」が24.8%でした。



n=954、SA=954

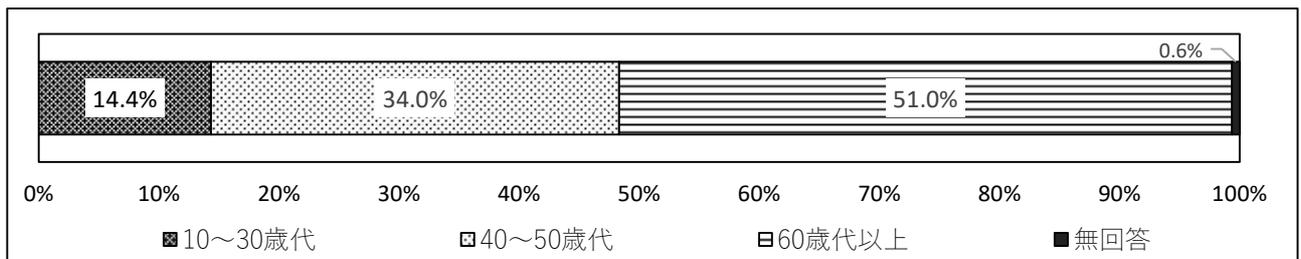
② 年齢

・「70歳代」が20.5%と最も多く、次いで「50歳代」が18.6%、「60歳代」が18.2%でした。



n=954、SA=954

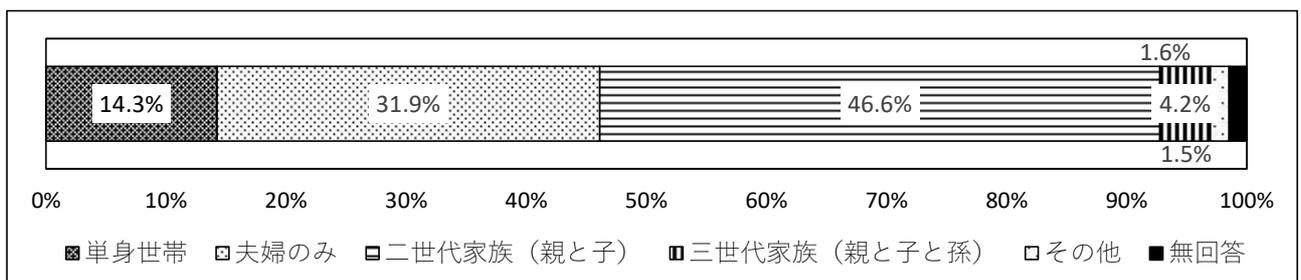
・年齢階層別にみると、「60歳代以上」が51.0%と最も多く、「40～50歳代」が34.0%、「10～30歳代」が14.4%でした。



n=954、SA=954

③ 家族構成

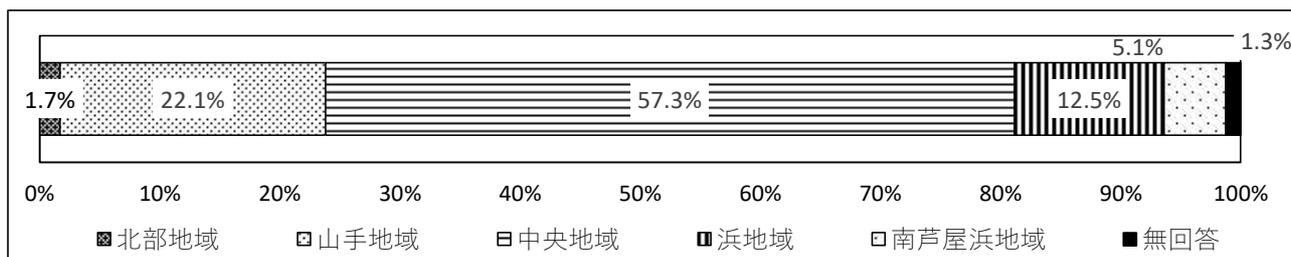
・「二世世代家族（親と子）」が46.6%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が31.9%、「単身世帯」が14.3%でした。



n=954、SA=954

④ 居住地域

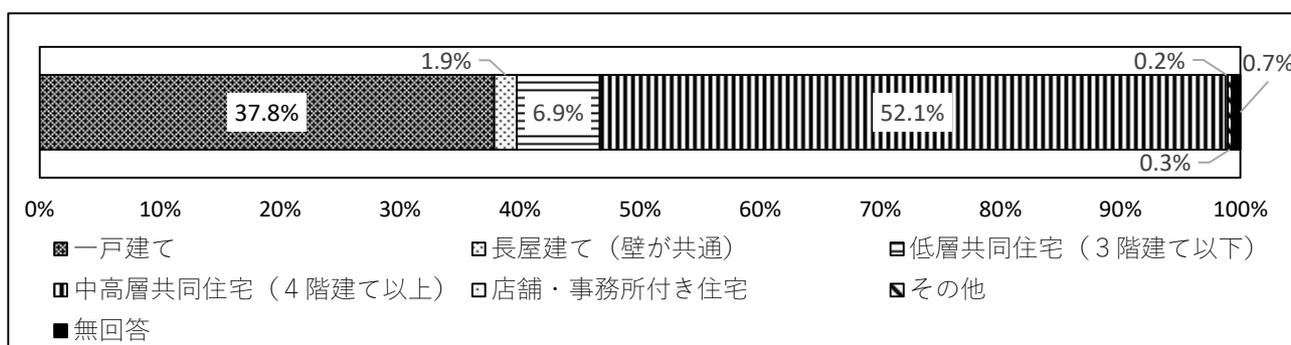
・「中央地域」が57.3%と最も多く、「山手地域」が22.1%、「浜地域」が12.5%でした。



n=954、SA=954

⑤ 住まいの形態

・「中高層共同住宅（4階建て以上）」が52.1%と最も多く、「一戸建て」が37.8%、「低層共同住宅（3階建て以下）」が6.9%でした。

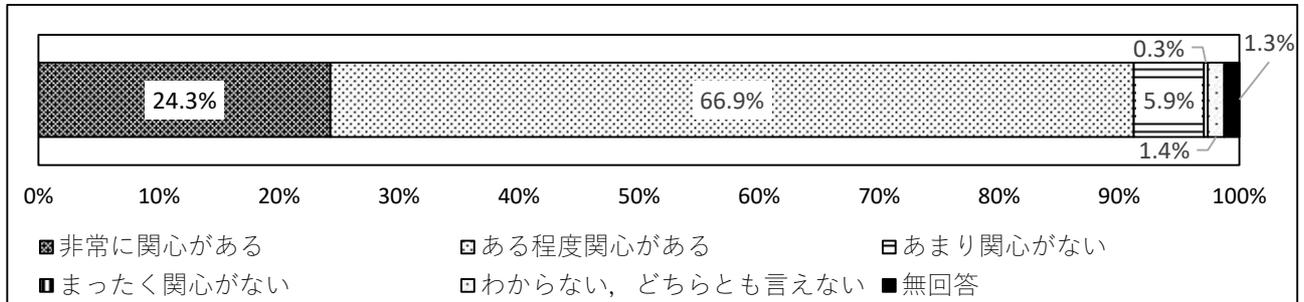


n=954、SA=954

(2) ごみ処理についての意識や考えについて

① ごみ問題に対する関心

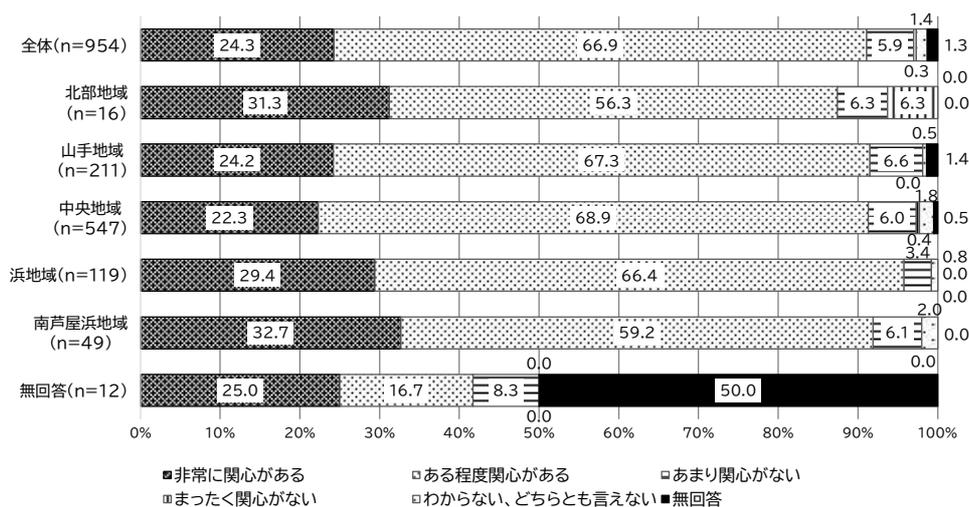
・「ある程度関心がある」が 66.9%と最も多く、「非常に関心がある」が 24.3%、「あまり関心がない」が 5.9%でした。



【地域別】

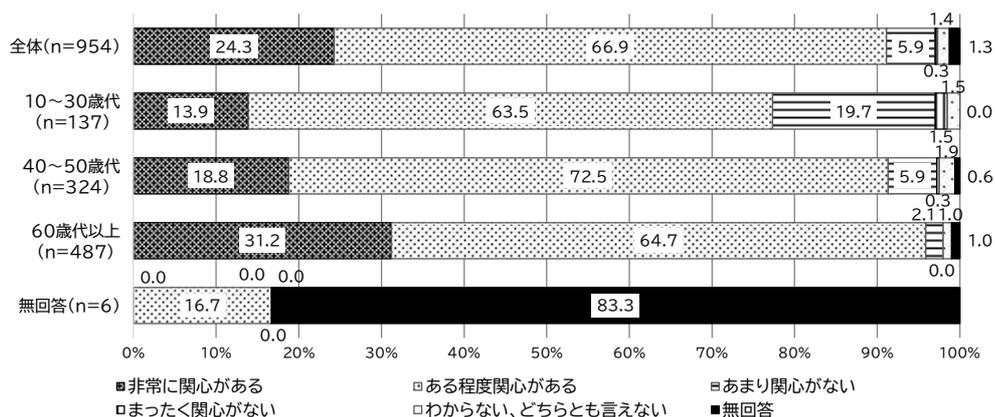
n=954、SA=954

地域別では、いずれの地域も「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた「関心がある」に 90%前後が回答しています。



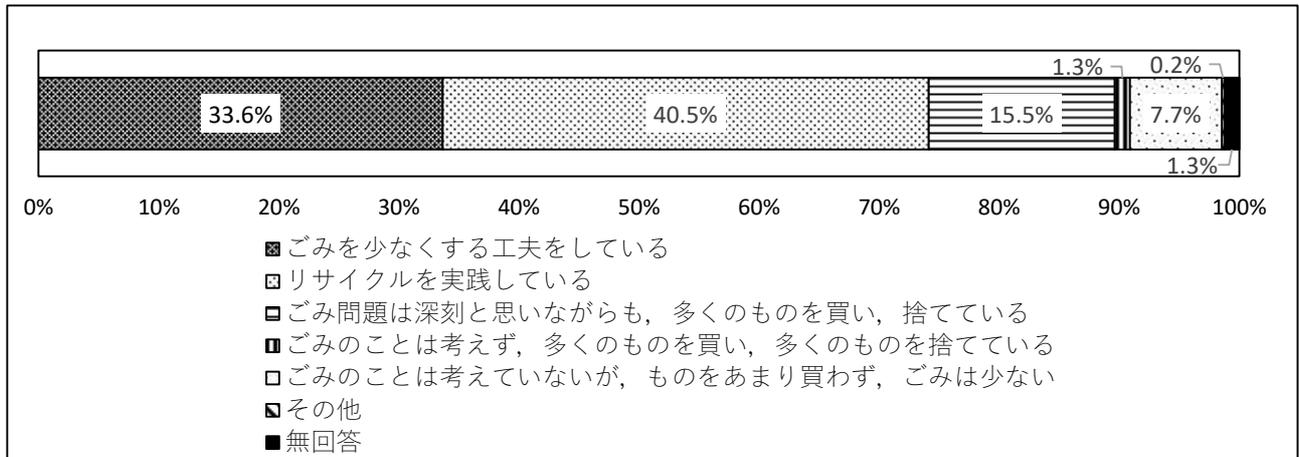
【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた「関心がある」に 80%前後が回答しています。なお、10～30 歳代では「あまり関心がない」が 19.7% でした。



② ごみを考えた日頃の行動

・「リサイクルを実践している」が 40.5%と最も多く、「ごみを少なくする工夫をしている」が 33.6%、「ごみ問題は深刻と思いながらも、多くのものを買ひ、多くのものを捨てている」が 15.5%でした。



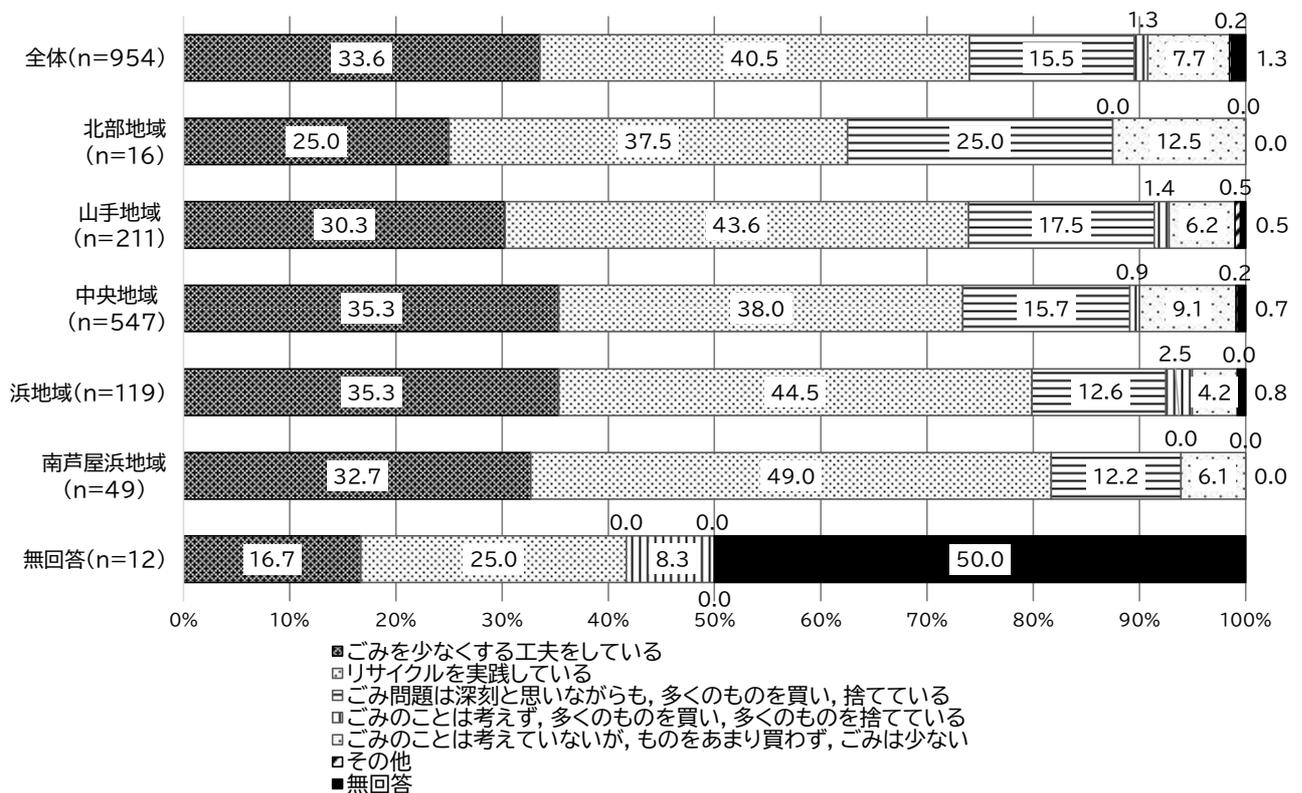
n=954、SA=954

<その他の主な回答>

- ・不用品の整理を始めて一年程、少しずつ出させて頂いています。
- ・ゴミが有料が多いので大きい物を買ひ控えてしまう。

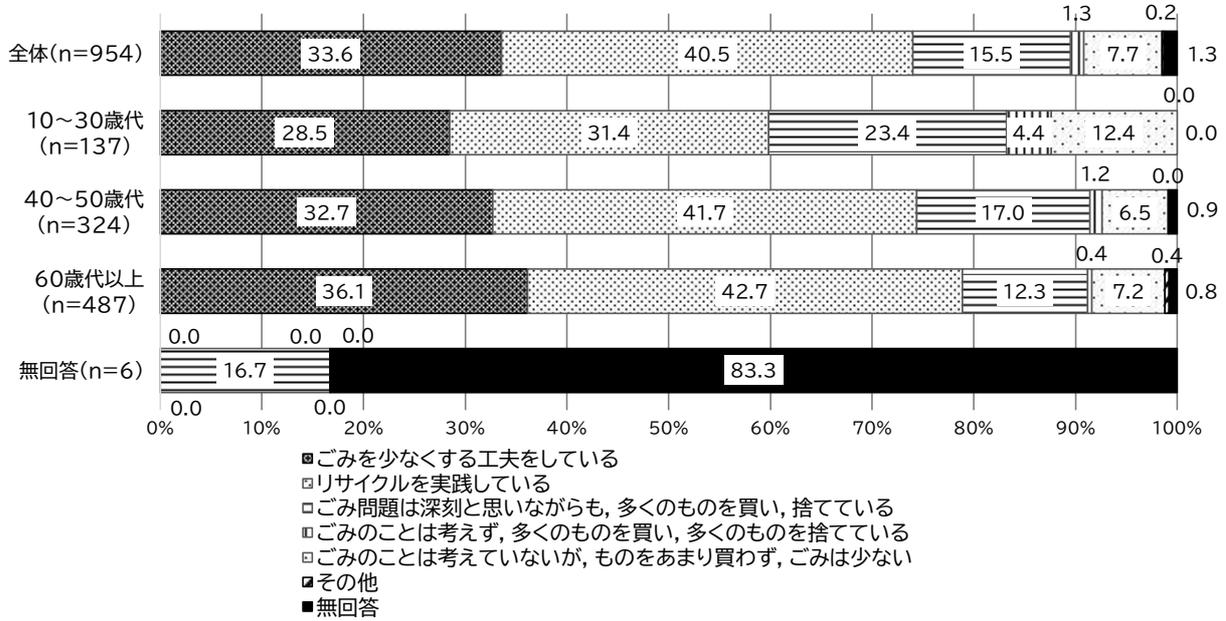
【地域別】

地域別では、いずれの地域でも「ごみを少なくする工夫をしている」が 30%前後となっています。「リサイクルを実践している」はいずれの地域でも 40%前後以上となっています。



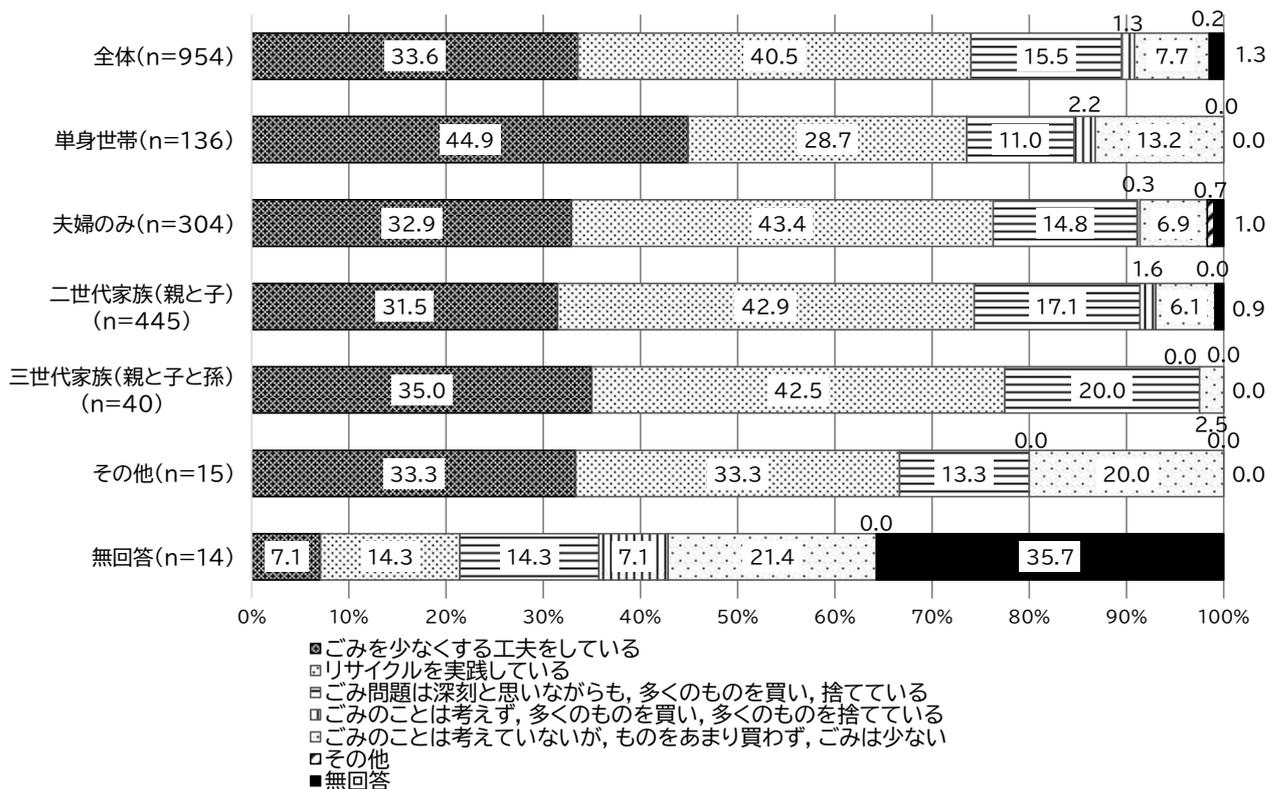
【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「ごみを少なくする工夫をしている」が30%前後、「リサイクルを実践している」が30%以上となっています。一方で「ごみ問題は深刻と思いながらも、多くのものを買い、捨てている」が10~30歳代では23.4%、40~50歳代では17.0%と若年層ほど多い傾向となっています。



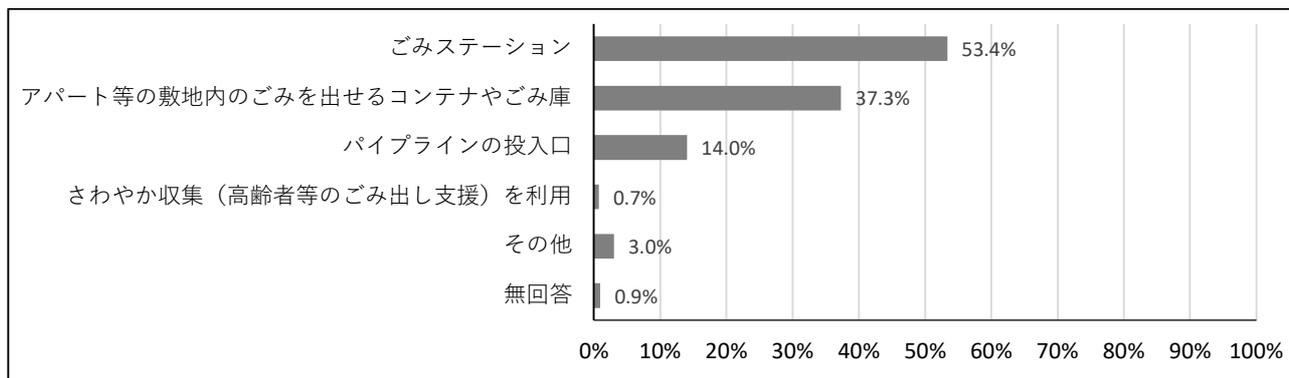
【家族構成別】

家族構成別では、単身世帯においては「ごみを少なくする工夫をしている」が44.9%と最も多くなっています。夫婦のみ、二世世代家族、三世世代家族では「リサイクルを実践している」が40%以上となっています。一方で「ごみ問題は深刻と思いながらも、多くのものを買い、捨てている」については三世世代家族が20.0%、単身世帯で11.0%と家族の構成が多くなるほど増加傾向が見られます。



③ 普段のごみの捨て方

・「ごみステーション」が 53.4%と最も多く、「アパート等の敷地内のごみを出せるコンテナやごみ庫」が 37.3%、「パイプラインの投入口」が 14.0%でした。



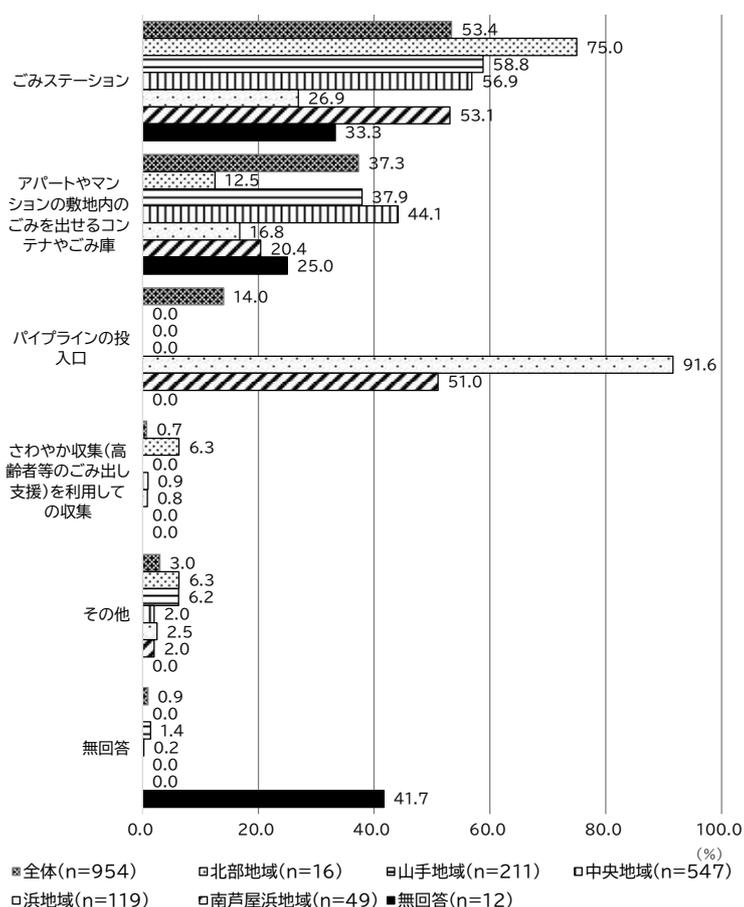
<その他の主な回答>

n=954、MA=1,044

- ・スーパー等のリサイクルボックス
- ・玄関先(各々)
- ・マンション掃除業者の方が、毎日収集して分別してくださっています。
- ・自治会リサイクル など

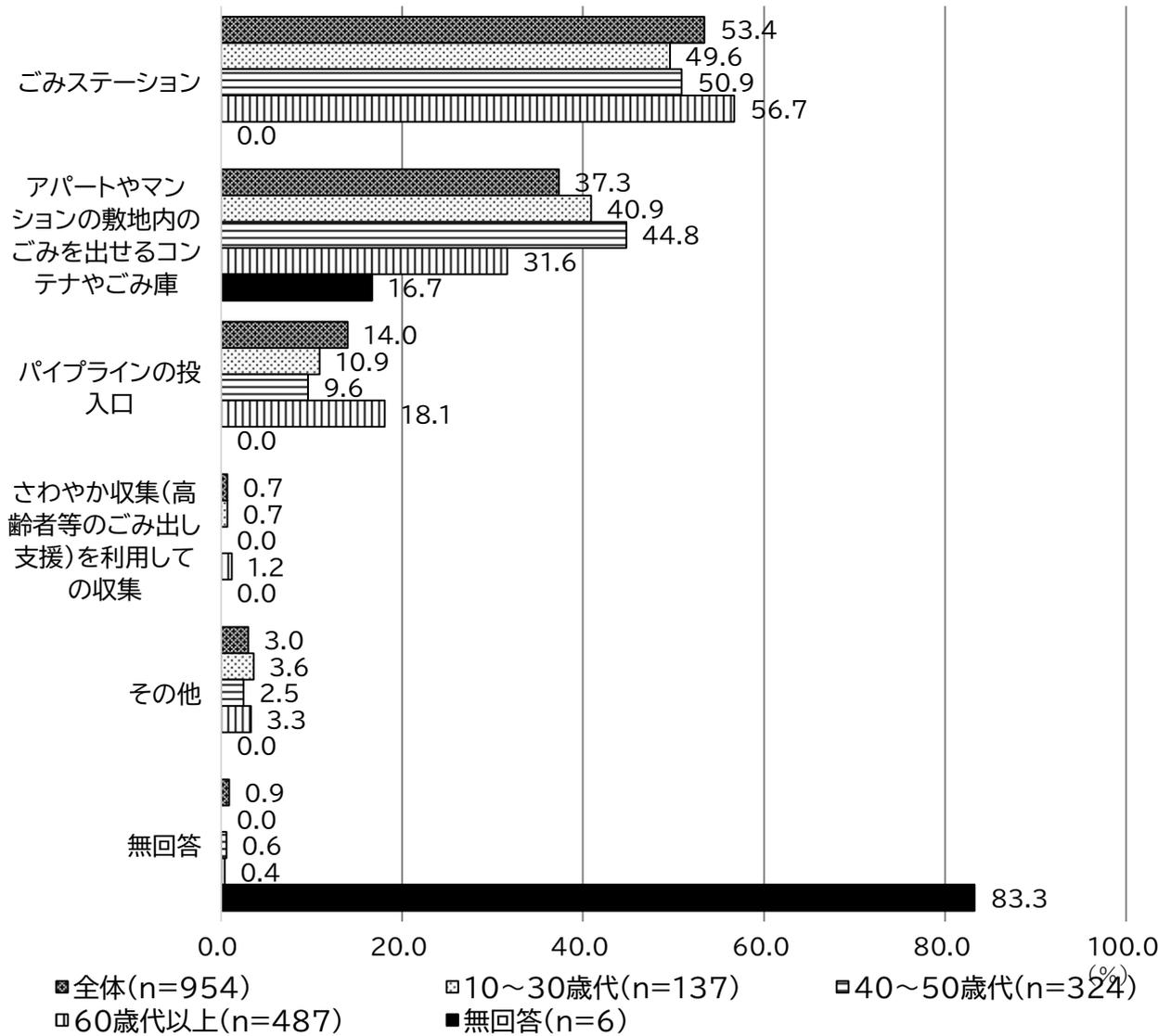
【地域別】

地域別では、浜地域以外の全ての地域で「ごみステーション」が 50%以上となっています。「パイプラインの投入口」が浜地域で 91.6%、南芦屋浜地域で 51.0%です。また、「アパートやマンションの敷地内のごみを出せるコンテナやごみ庫」が山手地域、中央地域では 40%前後となっています。



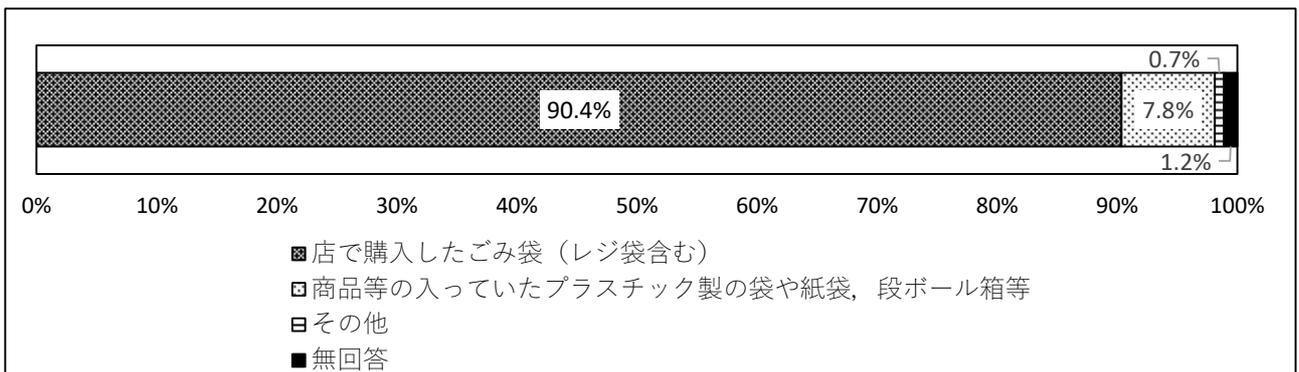
【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「ごみステーション」が50%前後となっています。



④ 普段のごみを捨てる時に使う袋や容器

・「店で購入したごみ袋（レジ袋含む）」が90.4%と最も多く、「商品等の入っていたプラスチック製の袋や紙袋、段ボール箱等」が7.8%でした。



n=954、SA=954

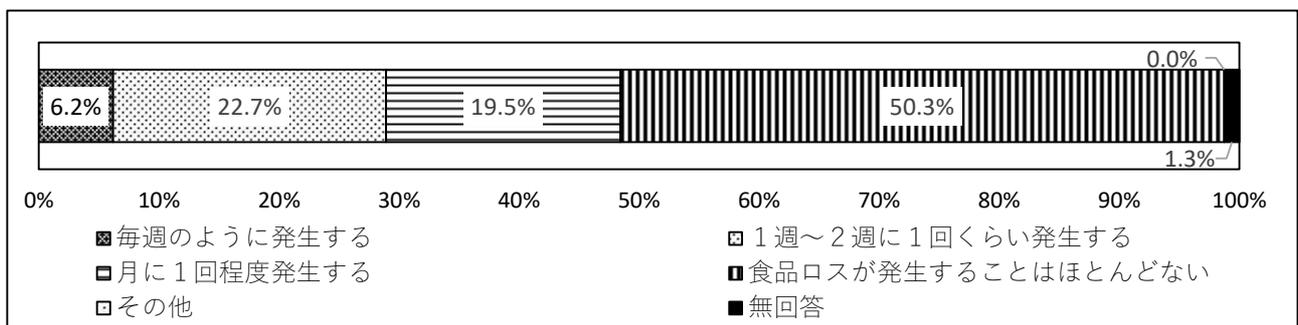
<その他の主な回答>

- ・マンションから配布されたビニール袋(白の不透明袋)
- ・自治会配布の黒ビニール袋
- ・店で購入したごみ袋(レジ袋含む)と商品等の入っていたプラスチック製の袋や紙袋、段ボール箱等の併用。 など

⑤ 食品ロス(本来食べられるのに捨ててしまう食品を発生させること)について

⑤-1 食品ロスの発生頻度

・「食品ロスが発生することはほとんどない」が 50.3%と最も多く、「1週～2週に1回くらい発生する」が 22.7%、「月に1回程度発生する」が 19.5%でした。



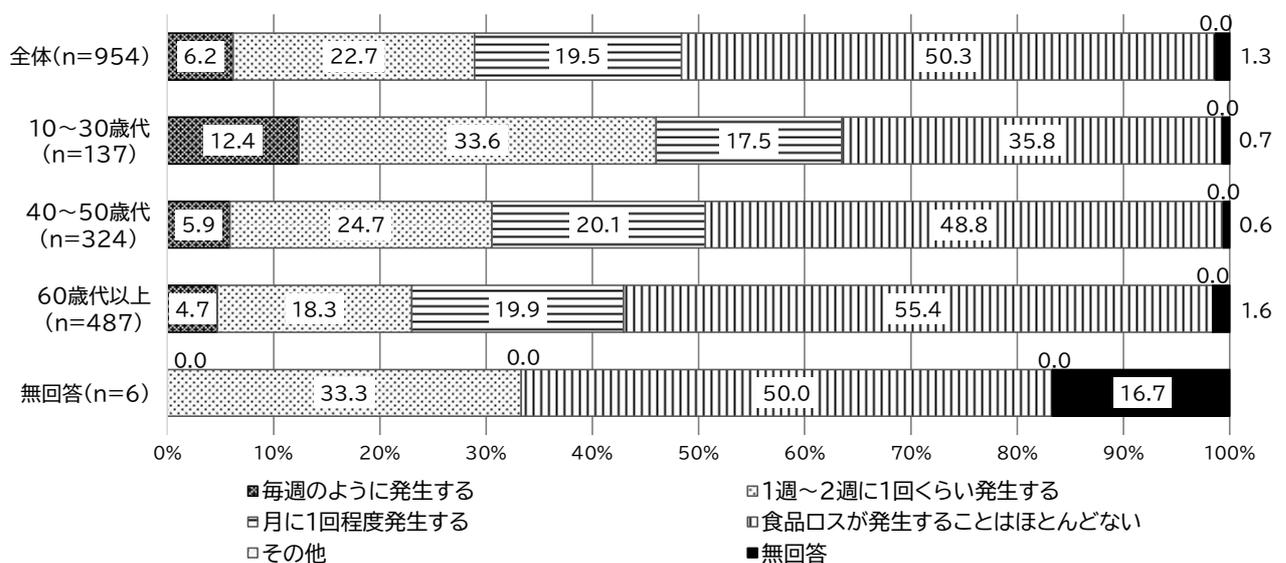
<その他の主な回答>

- ・年に数回 など

n=954、SA=954

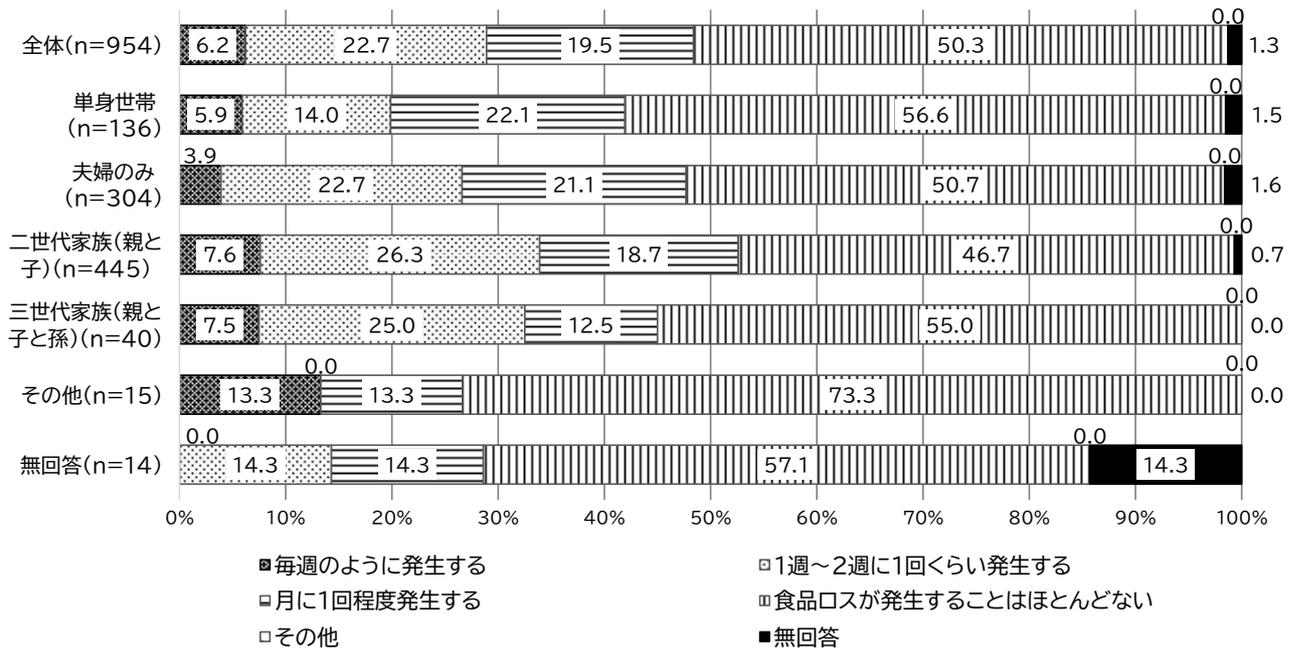
【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「食品ロスが発生することはほとんどない」が最も多く 35%以上となっています。「毎週のように発生する」は10～30歳代で12.4%、60歳代以上で4.7%と若年層になるほど増加する傾向が見られます。



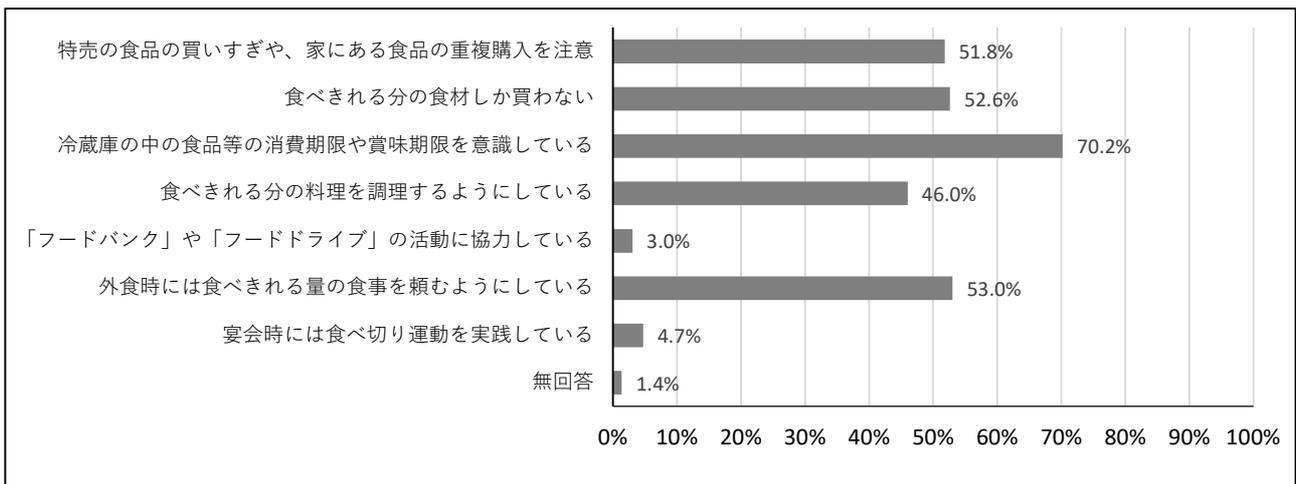
【家族構成別】

家族構成別では、全ての世帯において「食品ロスが発生することはほとんどない」が50%前後と最も多くなっています。



⑤-2 実践している食品ロス対策

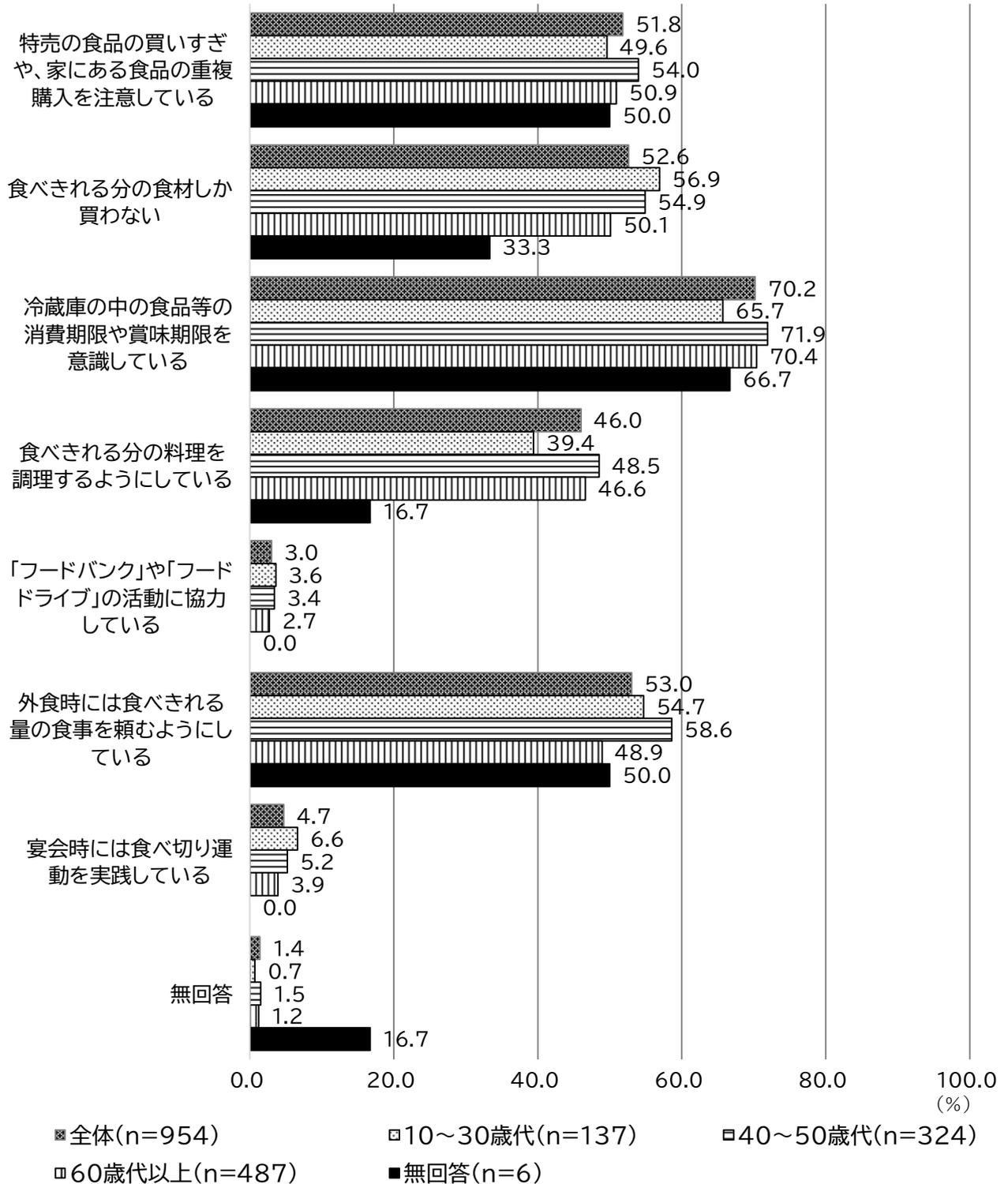
・「冷蔵庫の中の食品等の消費期限や賞味期限を意識している」が70.2%と最も多く、「外食時には食べきれる量の食事を頼むようにしている」が53.0%、「食べきれる分の食材しか買わない」が52.6%、「特売の食品の買いすぎや、家にある食品の重複購入を注意」が51.8%でした。



n=954、MA=2,698

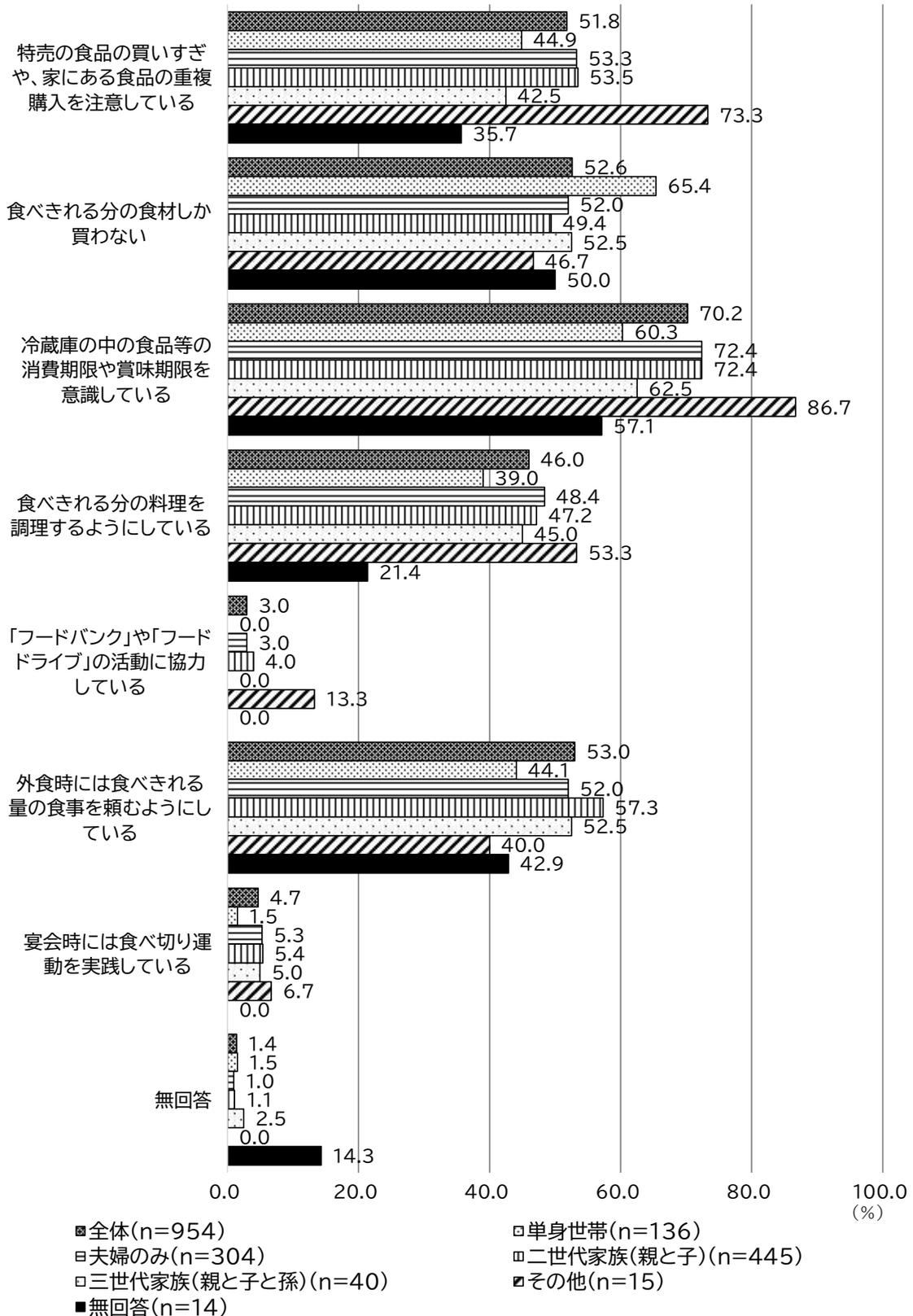
【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「冷蔵庫の中の食品等の消費期限や賞味期限を意識している」が最も多く70%前後となっています。いずれの食品ロス対策も50%前後と多くの市民が実践している傾向が見られます。一方で、『「フードバンク」や「フードドライブ」の活動に協力している』、「宴会時には食べ切り運動を実践している」については、いずれの年代においても5%前後と少なくなっています。



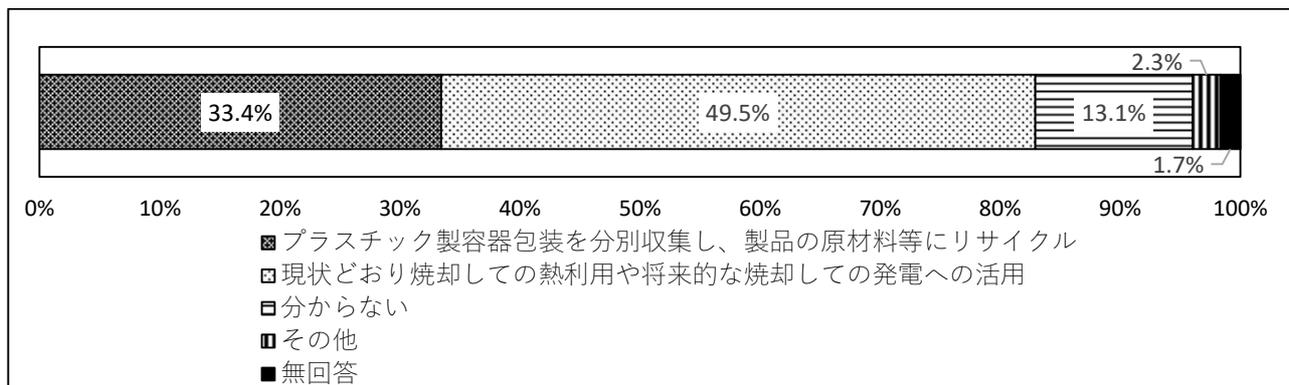
【家族構成別】

家族構成別では、単身世帯を除くいずれの家族構成においても「冷蔵庫の中の食品等の消費期限や賞味期限を意識している」が最も多く 60%以上となっています。単身世帯においては「食べきれない分の食材しか買わない」が 65.4%と最も多くなっています。



⑥ プラスチック類のリサイクルについて

・「現状どおり焼却しての熱利用や将来的な焼却しての発電への活用」が 49.5%と最も多く、「プラスチック製容器包装を分別収集し、製品の原材料等へリサイクル」が 33.4%でした。



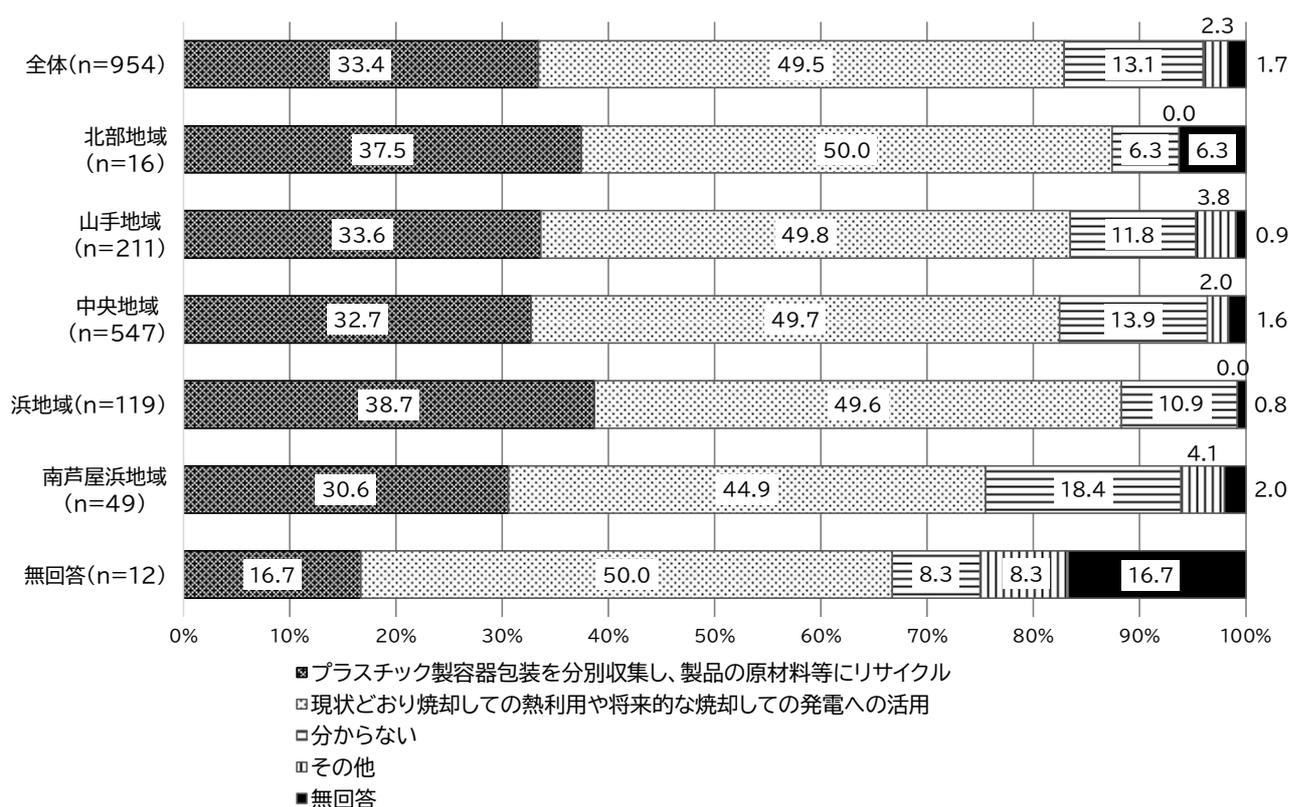
n=954、SA=954

<その他の主な回答>

- ・スーパーでのトレイや容器を極力簡易包装にする。
- ・生産者側に、もっと努力を促すべき。
- ・紙とビンにして、プラスチックを減らし、はかり売りにする。
- ・どちらが環境にやさしいかデータを知りたい。環境にやさしい方を選びたい。
- ・分別が理想だが、そのリサイクルまでの行程がコスト含めて妥当なのかは疑問。 など

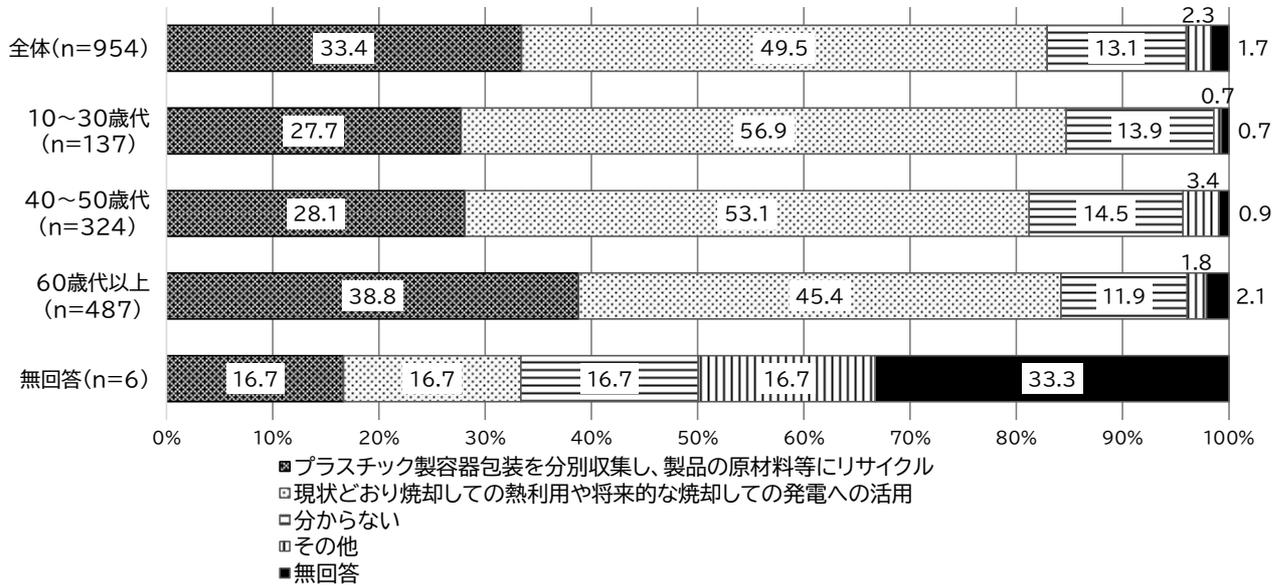
【地域別】

地域別では、全ての地域で「現状どおり焼却しての熱利用や将来的な焼却しての発電への活用」が 50% 前後と最も多くなっています。



【年代別】

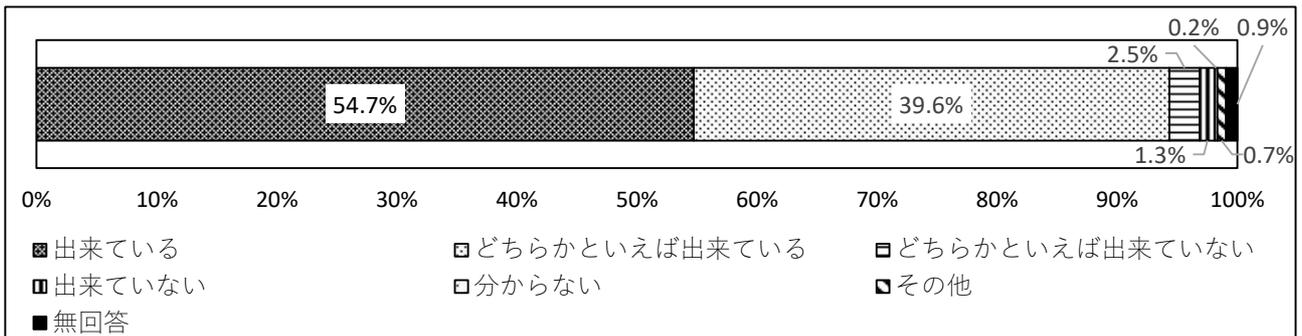
年代別では、いずれの年代においても「現状どおり焼却しての熱利用や将来的な焼却しての発電への活用」が 50%前後となっています。60 歳代以上では、「プラスチック製容器包装を分別収集し、製品の原材料等にリサイクル」が 38.8%と他の年代に比べて 10%程度多くなっています。



(3) ごみの分別について

① 12 分別の実施状況

・「出来ている」と「どちらかといえば出来ている」を合わせて 94.3%、「どちらかといえば出来ていない」と「出来ていない」を合わせて 3.8%でした。また、その他では、「マンション独自のごみ出しルールに従っている。」などの意見が見られました。



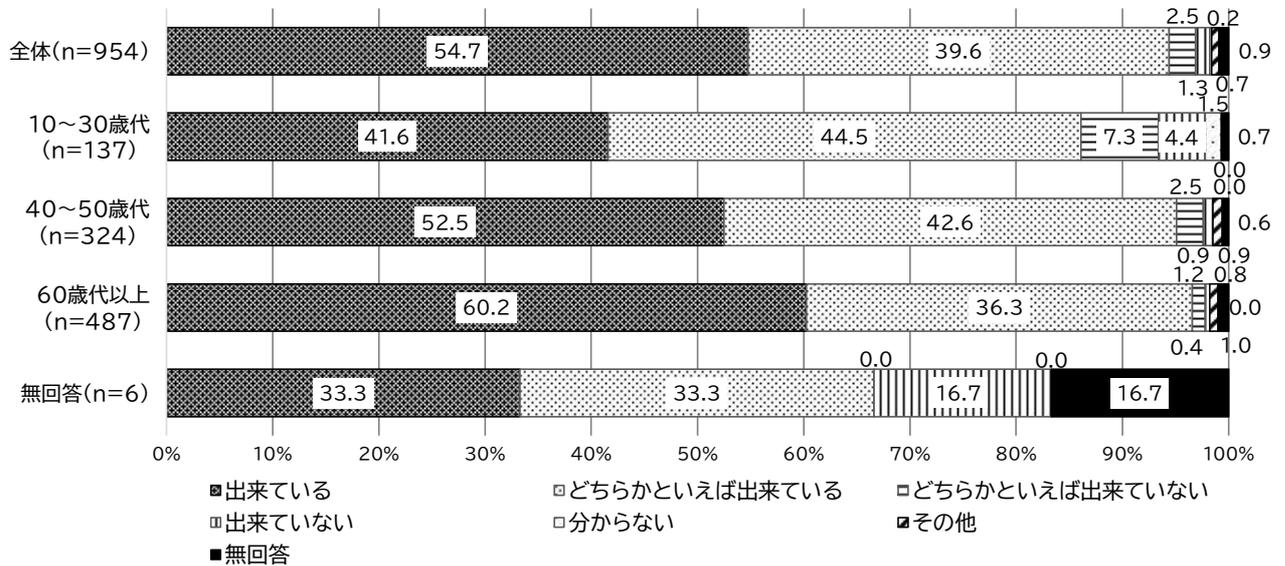
n=954、SA=954

<その他の主な回答>

・マンション独自のごみ出しルールに従っている。 など

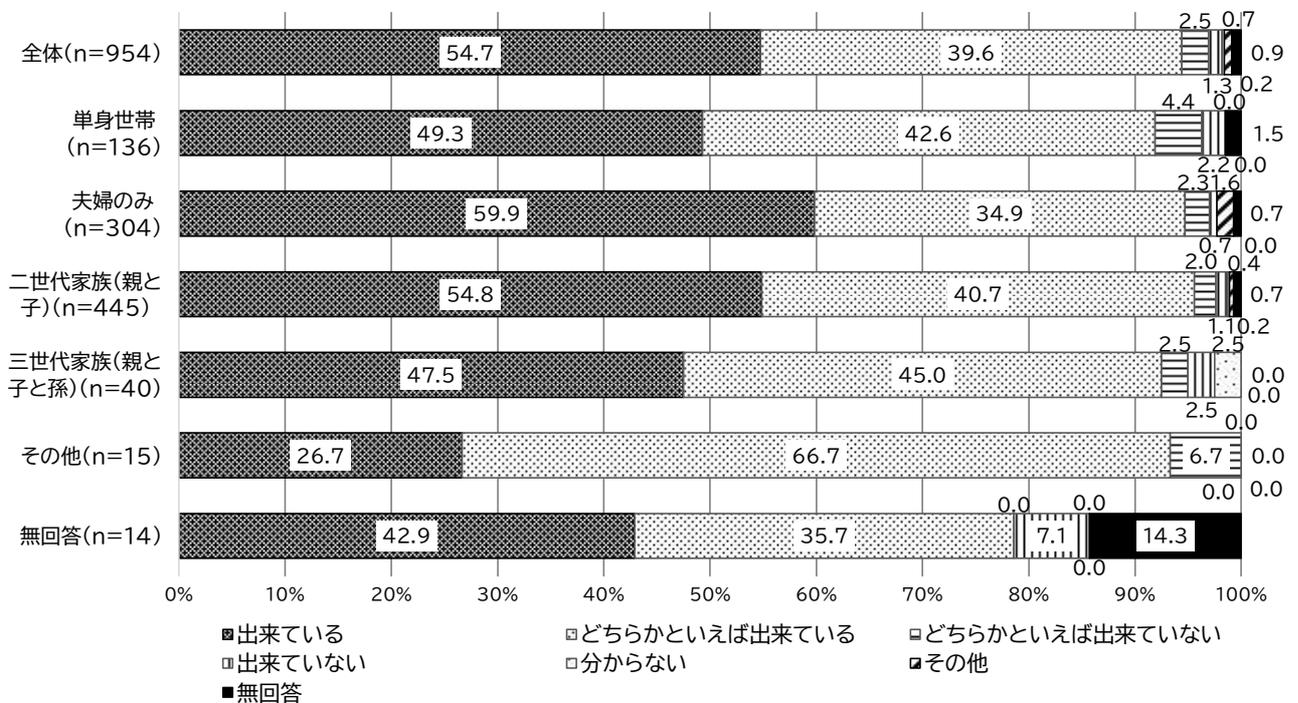
【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「出来ている」「どちらかといえば出来ている」を合わせた「出来ている」が90%前後となっています。10～30歳代では「出来ていない」が4.4%、「どちらかといえば出来ていない」が7.3%と、他の年代に比べて「出来ていない」が多い傾向が見られます。



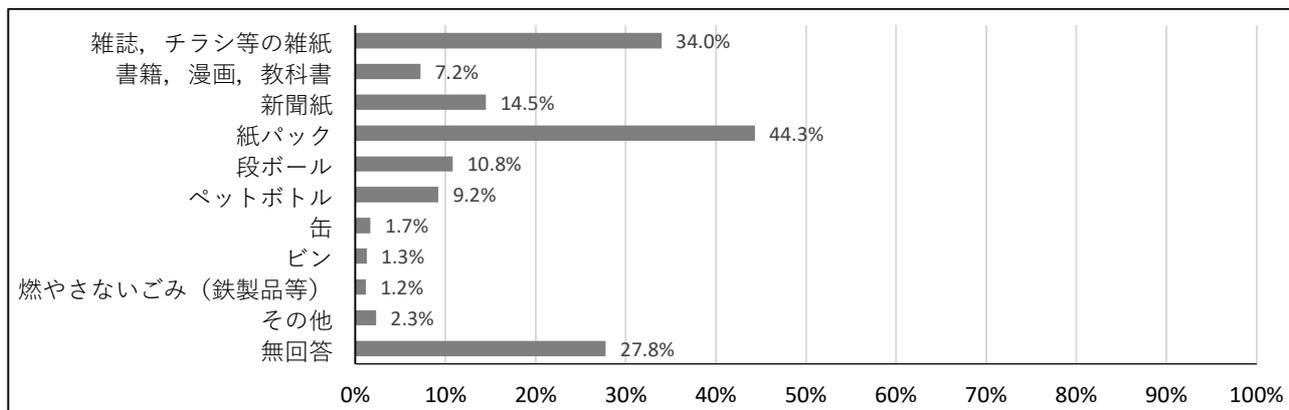
【家族構成別】

家族構成別では、いずれの年代においても「出来ている」「どちらかといえば出来ている」を合わせた「出来ている」が90%以上となっています。



② 資源ごみのうち燃やすごみとして出すことがあるもの

- ・紙パックが44.3%と最も多く、「雑誌、チラシ等の雑紙」が34.0%、「新聞紙」が14.5%、「段ボール」が10.8%でした。



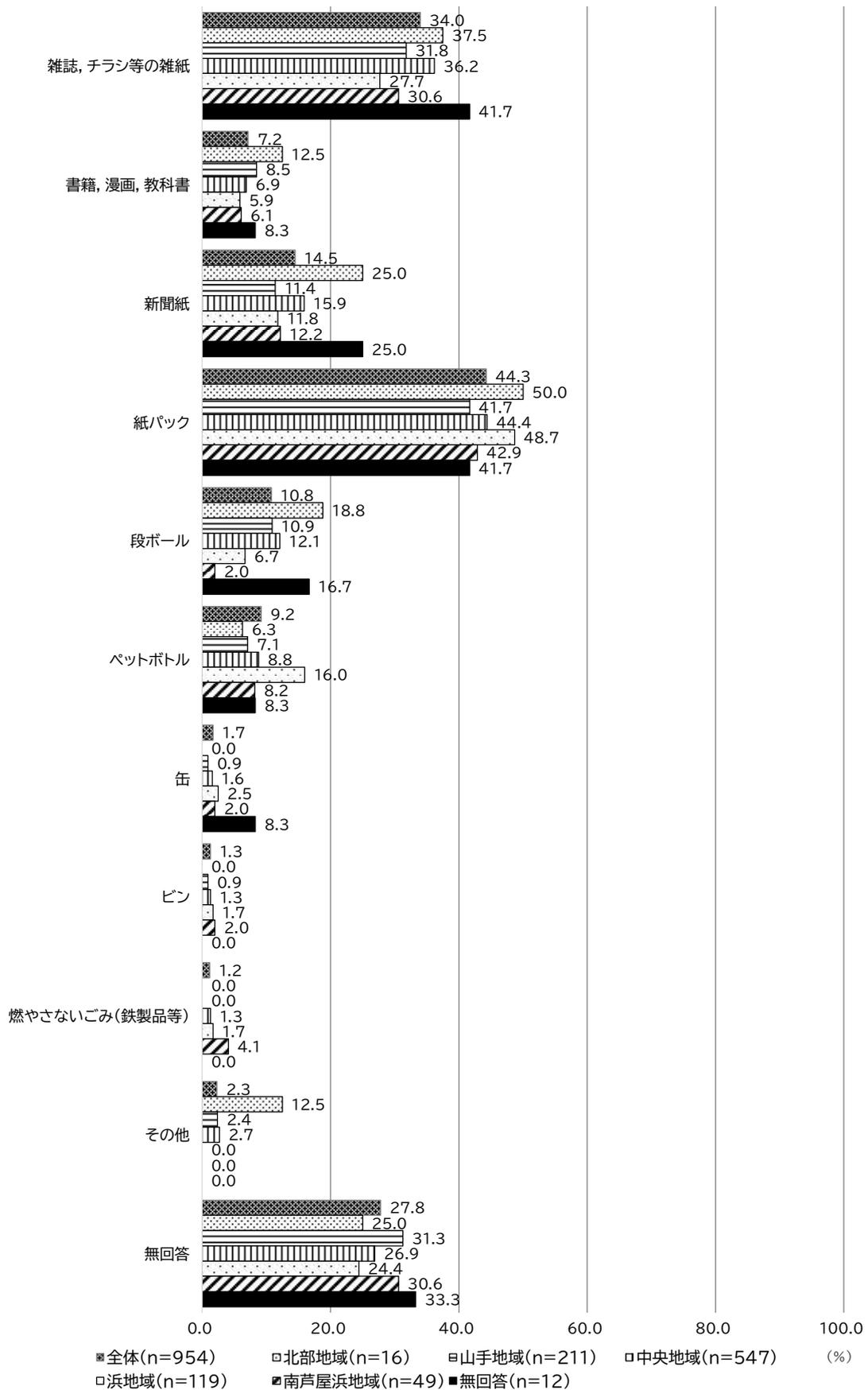
n=954、MA=1,471

<その他の主な回答>

- ・レシート等小さい紙類
- ・封筒、ハガキに住所、氏名が印刷されている物は、燃えるごみとして捨ててます。
- ・ビン・缶のふた
- ・針金の入った袋止め等。 など

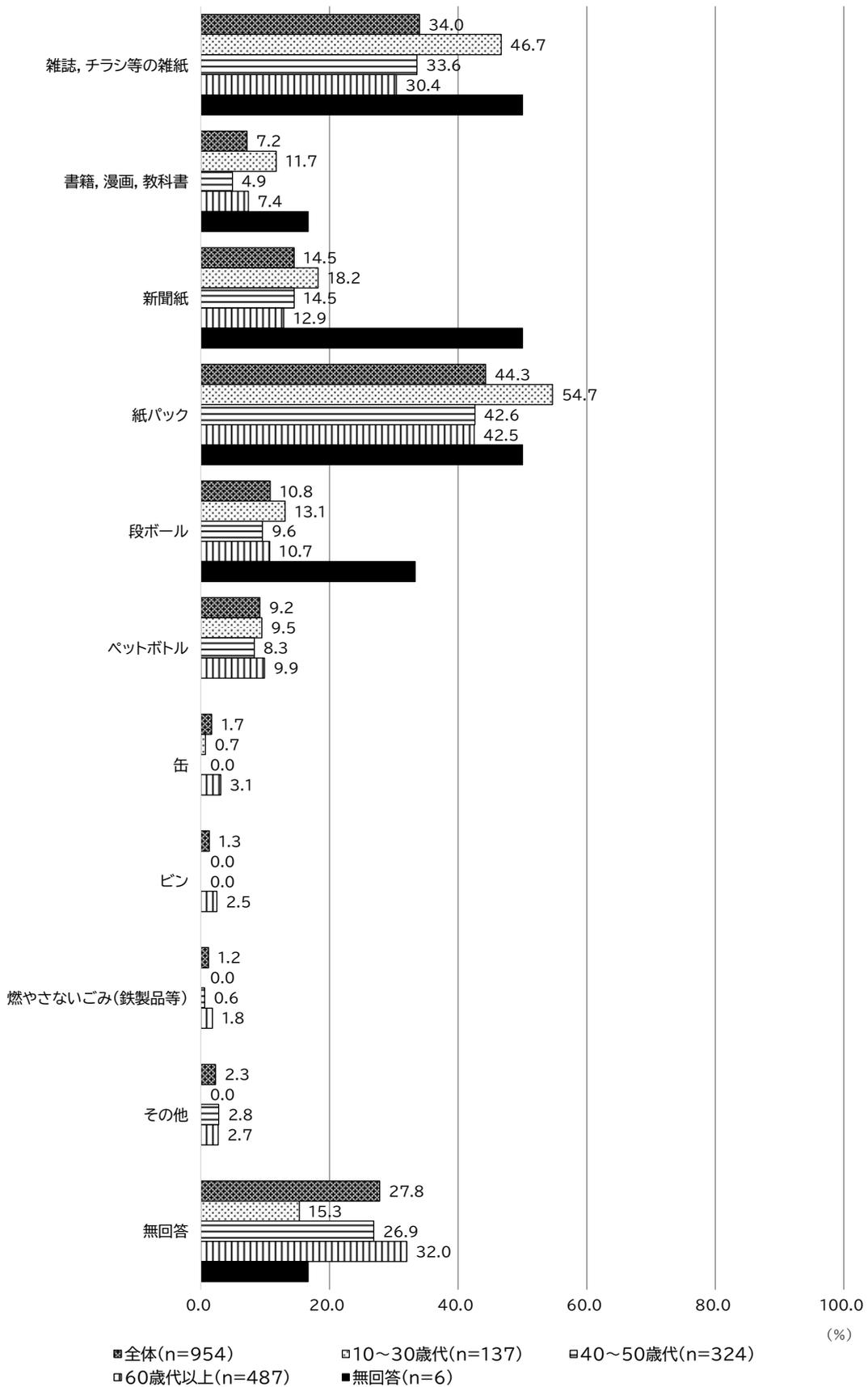
【地域別】

地域別では、いずれの地域でも「紙パック」が最も多く 40%以上となっています。続いて、「雑誌、チラン等の雑紙」が 30%前後となっています。



【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「紙パック」が最も多く40%以上となっています。10～30歳代では「雑誌、チラシ等の雑紙」も多く46.7%です。



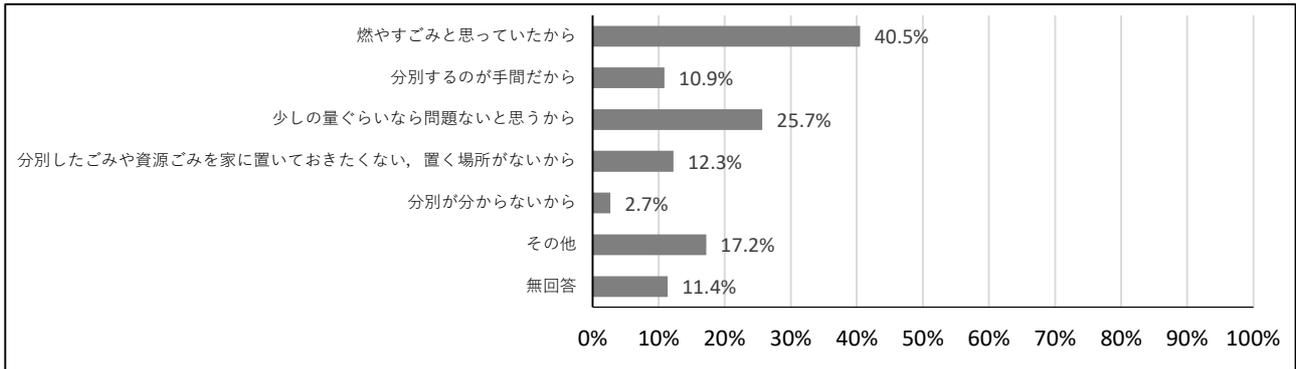
③【自由記述】 分別区分が分からず、家庭に溜めているごみや捨て方が分からないごみ。

<一部抜粋>

- ・鞆、ベルトなど布製品にバックルなど金属部品
- ・携帯電話
- ・パソコン
- ・植木鉢の土
- ・中身の残ったスプレー缶
- ・使い捨てライター
- ・水銀の入った古い体温計
- ・古い消火器
- ・ペットボトルのキャップ
- ・大型ゴミ（部屋まで取りに来て頂けると料金がかかっても出したい。）
- ・鍋焼きうどんのアルミなべ
- ・カイロ
- ・プライバシーに関する書類
- ・金属とプラスチック等、可燃部分と不燃部分で構成されているゴミ
- ・ビンなどのフタや金具が取り外しできない物
- ・ハンガー
- ・固形化して容器にへばりついた塗料
- ・壊れた傘
- ・洋服などを収納するプラスチック製の収納箱
- ・発泡スチロール（大きい物）
- ・プラスチック製品 など

④ 資源ごみを燃やすごみに混ぜて捨てた理由

- ・上記②で「燃やすごみとして資源ごみを捨てることがある」と回答された方にお聞きしました。
- ・「燃やすごみと思っていたから」が40.5%と最も多く、「少しの量ぐらいなら問題ないと思うから」が25.7%、でした。
- ・なお、「その他」では、「個人情報を守るため」、「再利用等で汚れている」、「カラス対策等のために包む」、「マンションのルール」などの意見も見られました。
- ・特に、「再利用等で汚れている」の記載が多く、また、「マンションのルール」では、「マンション内で分別して捨てるようになっていない」などの意見も見られた。



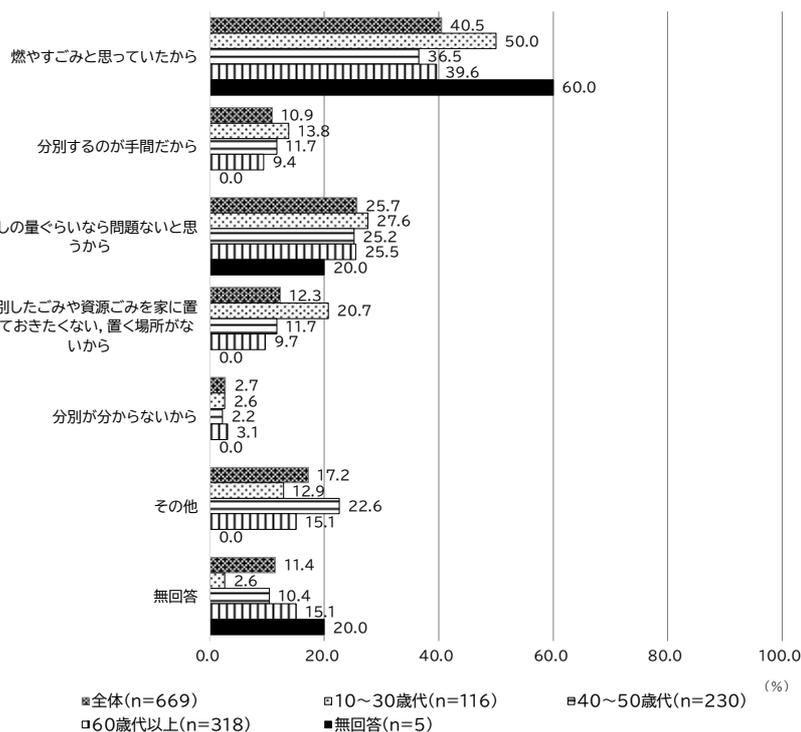
<その他の主な回答>

n=669、MA=807

- ・個人情報を守るため
- ・再利用等で汚れているため
- ・カラス対策等のために包む
- ・マンションのルール など

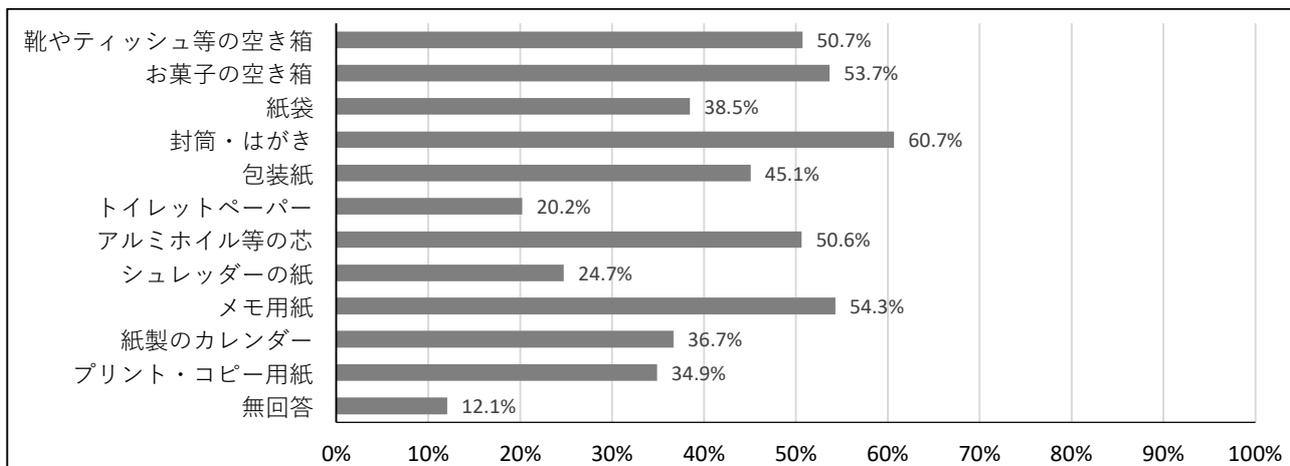
【年代別】

年代別では、いずれの年代においても「燃やすごみと思っていたから」が多く、10～30歳代で50.0%、40～50歳代で36.5%、60歳代以上で39.6%となっています。



⑤ 雑誌・チラシの日に捨てる資源ごみのうち燃やすごみとして捨てているもの

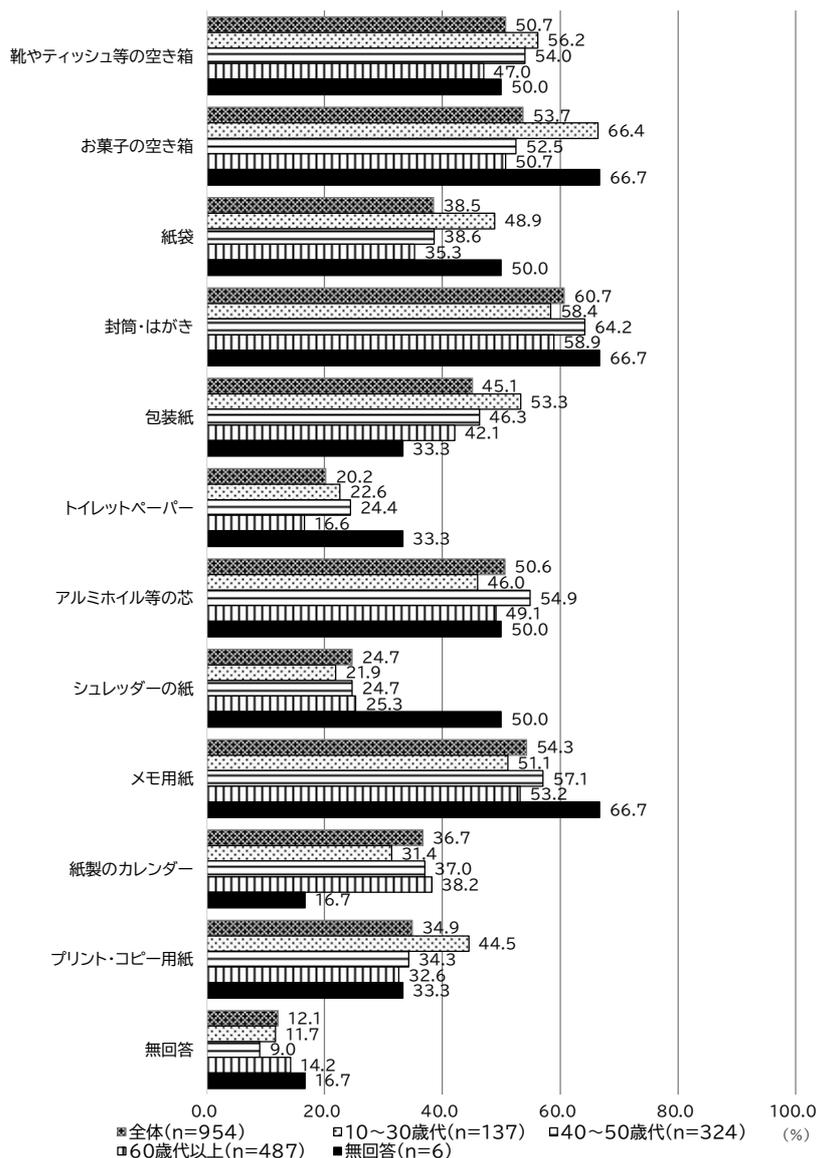
・「封筒・はがき」が60.7%と最も多く、「メモ用紙」が54.3%、「お菓子の空き箱」が53.7%でした。



【年代別】

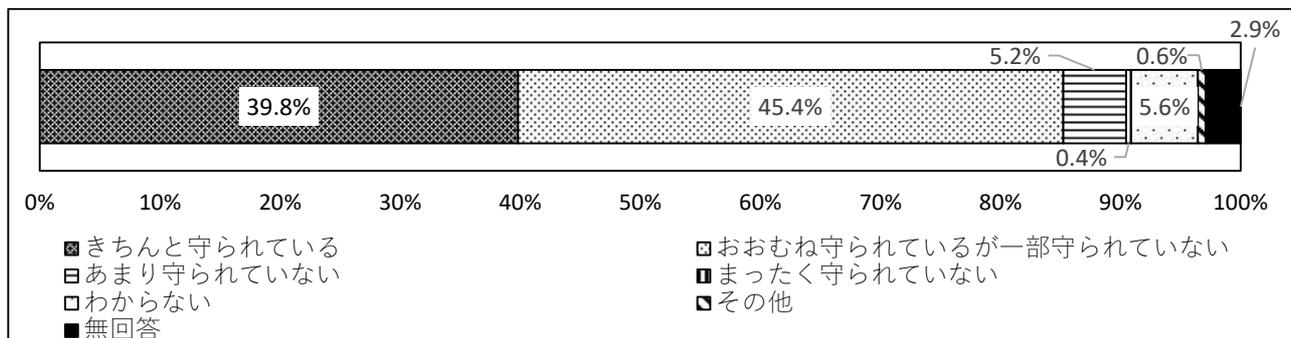
n=954、MA=4,600

年代別では、10～30歳代では「お菓子の空き箱」が66.4%と最も多く、「お菓子の空き箱」が40～50歳代で64.2%、60歳代以上で58.9%と最も多くなっています。



⑥ 家庭ごみステーションやパイプライン等におけるごみ捨てのルールやマナーの状況

・「おおむね守られているが一部守られていない」が 45.4%と最も多く、「きちんと守られている」が 39.8%、「あまり守られていない」が 5.2%でした。



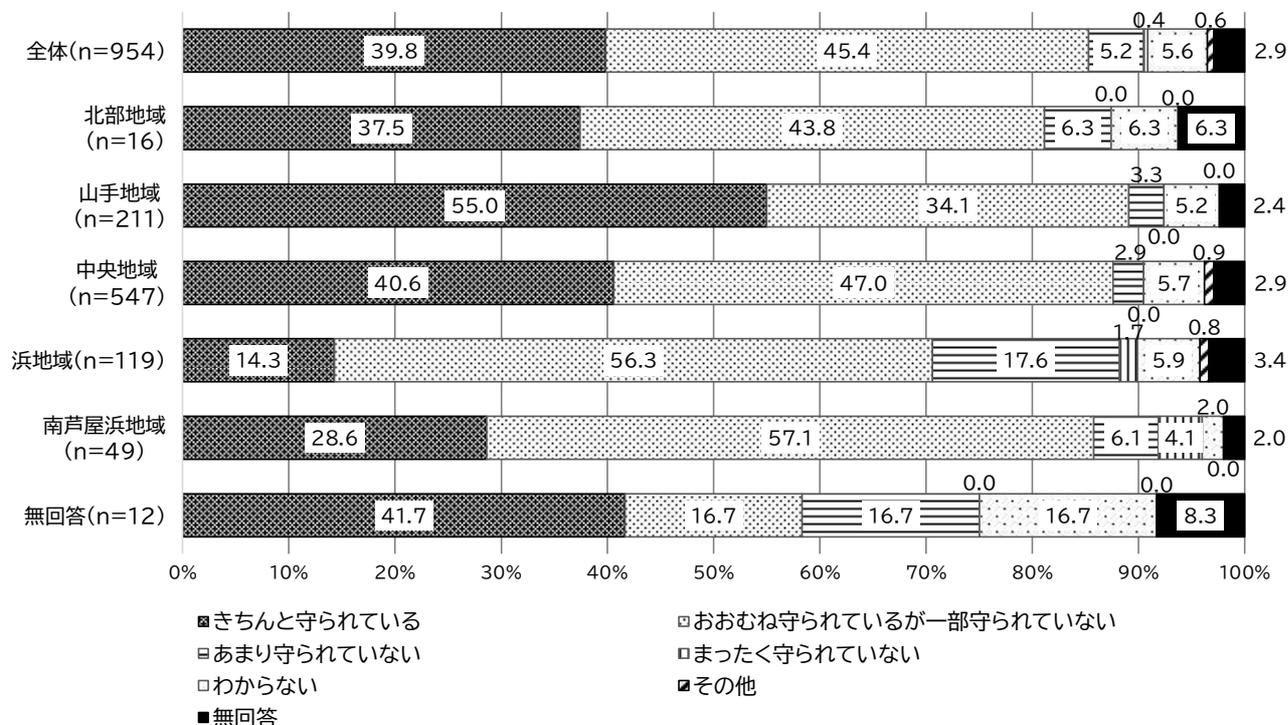
<その他の主な回答>

n=954, SA=954

- ・マンションの管理人が整理している（もえるゴミ以外）。
- ・守られているが、ステーション地区内と関係ない人が捨てる事がある。 など

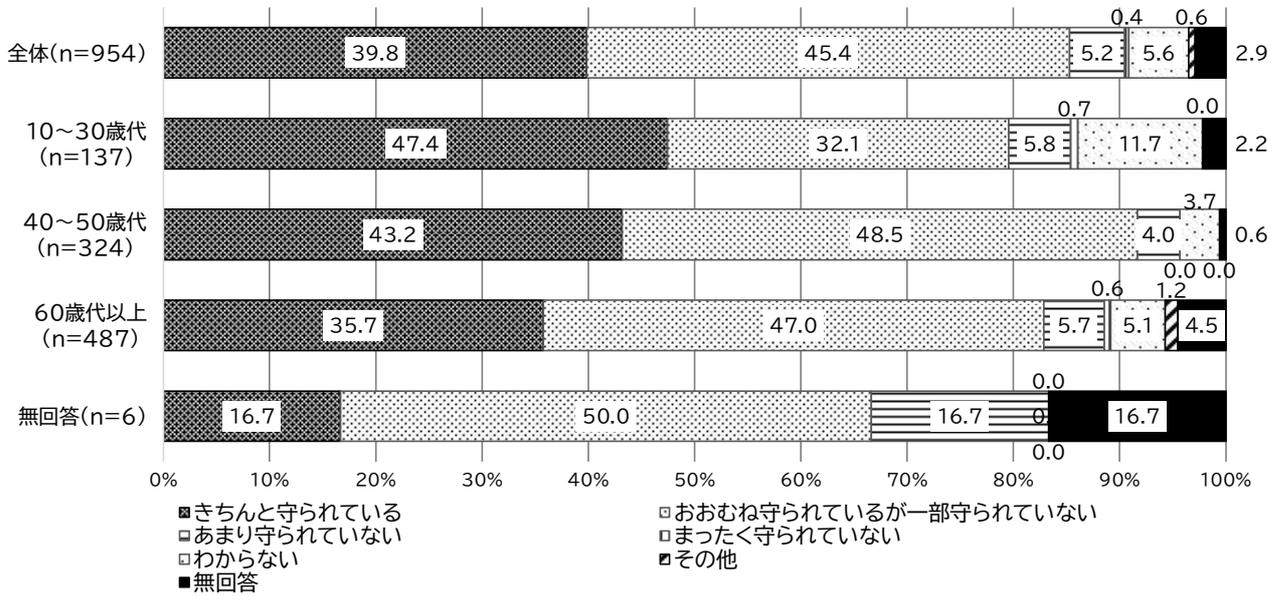
【地域別】

地域別では、山手地域では「きちんと守られている」が 55.0%と最も多くなっています。その他の地域では「おおむね守られているが一部守られていない」が最も多く、北部地域で 43.8%、中央地域で 47.0%、浜地域で 56.3%、南芦屋浜地域で 57.1%となっています。なお、浜地域では「あまり守られていない」が 17.6%と他の地域に比べて多い傾向となっています。



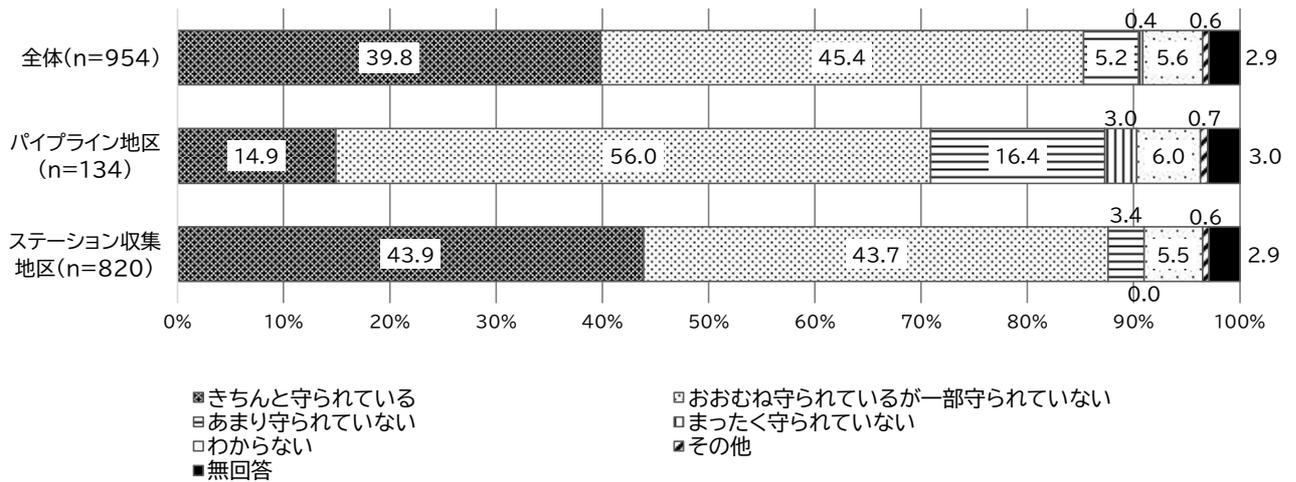
【年代別】

年代別では、「きちんと守られている」が10～30歳代で47.4%と最も多くなっています。「おおむね守られているが一部守られていない」が40～50歳代で48.5%、60歳代以上で47.0%と最も多くなっています。



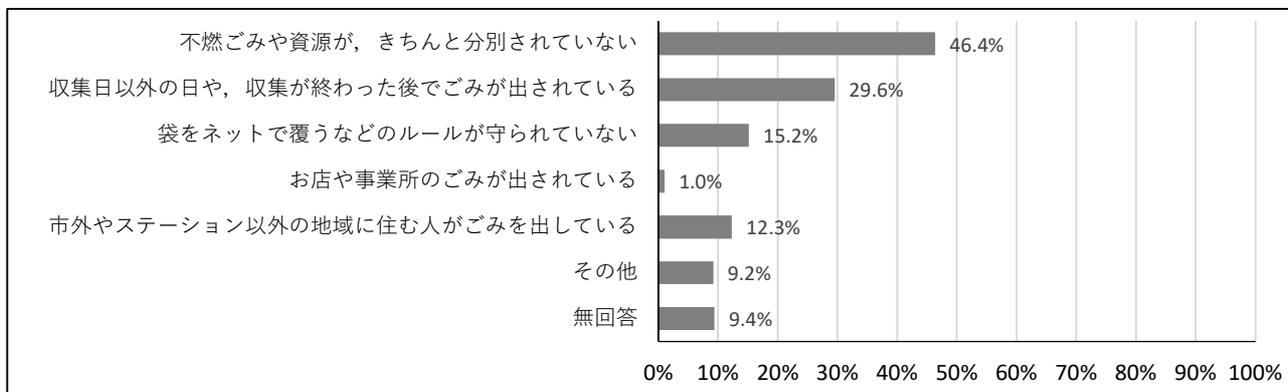
【収集方式別】

収集方式別では、ステーション収集地区では「きちんと守られている」が最も多く43.9%となっています。パイプライン地区では「おおむね守られているが一部守られていない」が最も多く56.0%となっており、「あまり守られていない」も16.4%とステーション収集地区と比べて多い傾向となっています。



⑦ ルールが守られていない具体的な内容

- ・上記⑤で「守られていない」と回答された方にお聞きしました。
- ・「不燃ごみや資源が、きちんと分別されていない」が 46.4%と最も多く、「収集日以外の日や、収集が終わった後でゴミが出されている」が 29.6%、「袋をネットで覆うなどのルールが守られていない」が 15.2%でした。



<その他の主な回答>

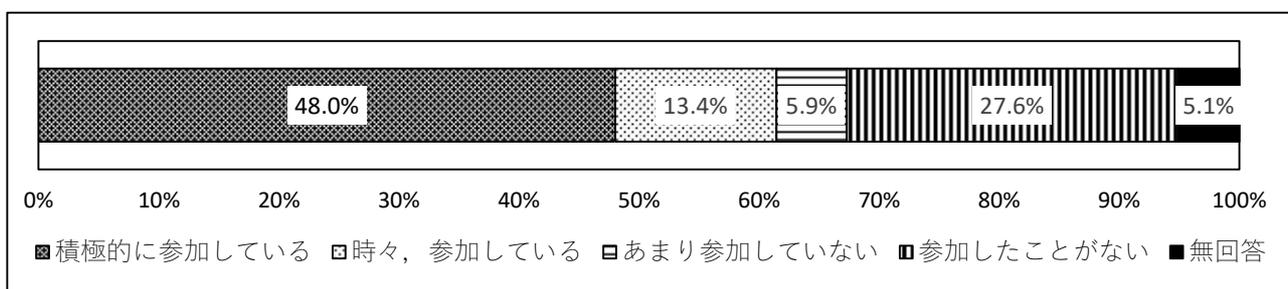
n=954、MA=600

- ・粗大ゴミが不燃ごみに出されている。
- ・有料粗大ゴミが無断で粗大ゴミ置場に出されている。
- ・パイプラインに捨てられない物が入られること時々ある。
- ・パイプラインが閉まっててもその場に置いていく。
- ・パイプラインゴミ投入口が赤なのに捨て置いている。
- ・夜や早朝の内から出している人がいる時がある。
- ・ネットを使っているが、カラスの害にあう。 など

⑧ 再生資源集団回収制度について

⑧-1 集団回収への参加状況

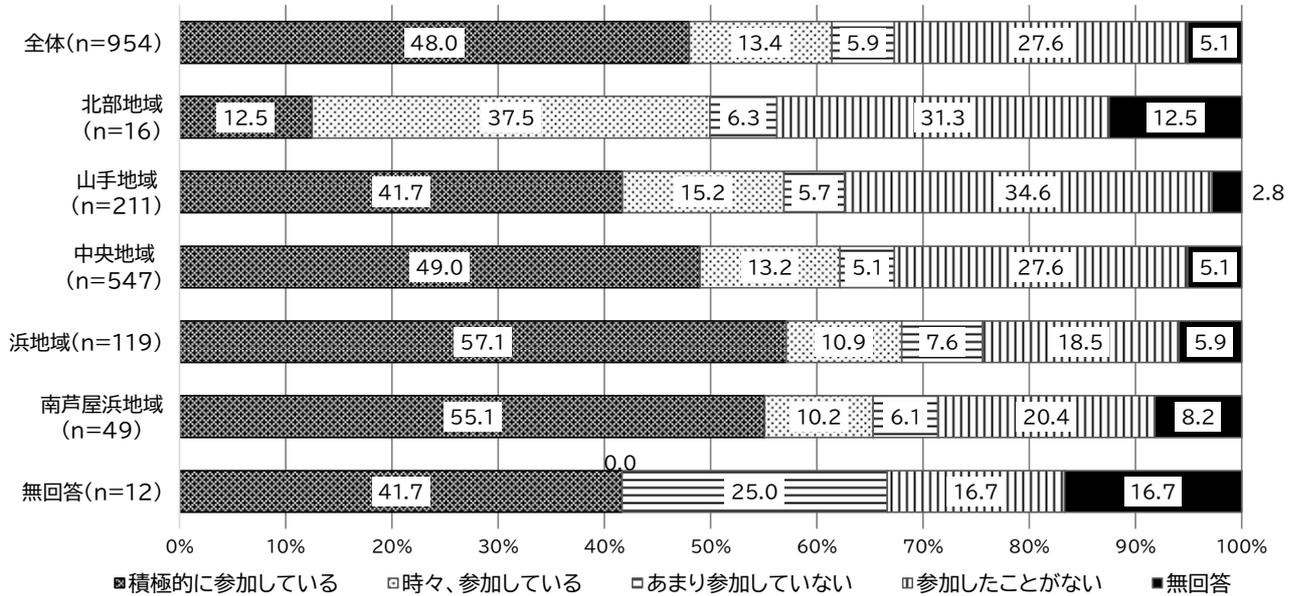
- ・「積極的に参加している」が 48.0%と最も多く、「参加したことがない」が 27.6%、「時々、参加している」が 13.4%でした。



n=954、SA=954

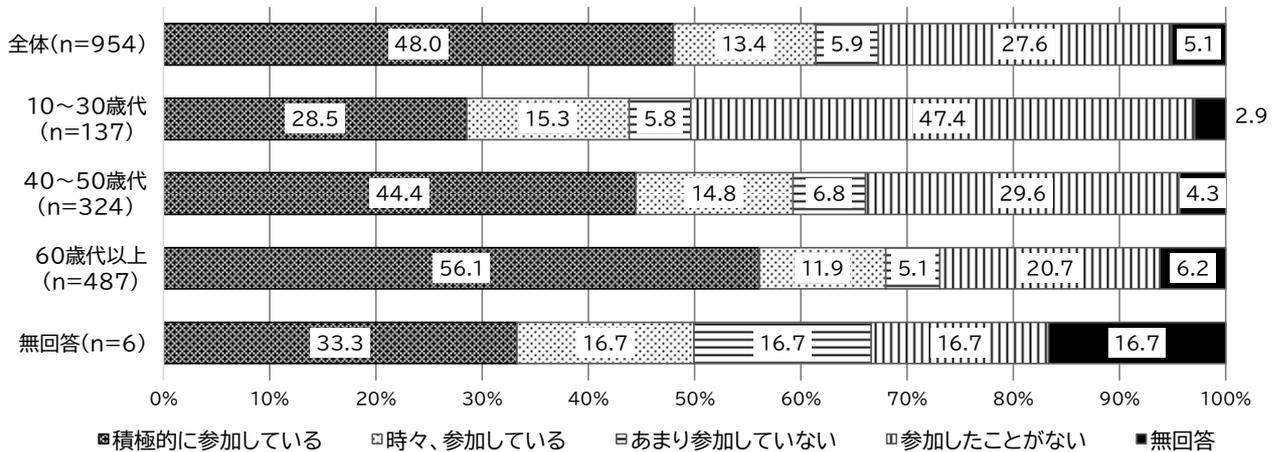
【地域別】

地域別では、北部地域以外の全ての地域で「積極的に参加している」が最も多く、山手地域で 41.7%、中央地域で 49.0%、浜地域で 57.1%、南芦屋浜地域で 55.1%となっています。北部地域では「時々、参加している」が最も多く 37.5%となっています。なお、「参加したことがない」が、山手地域で 34.6%、北部地域で 31.3%と南部地域に比べて集団回収への参加者が少ない傾向となっています。



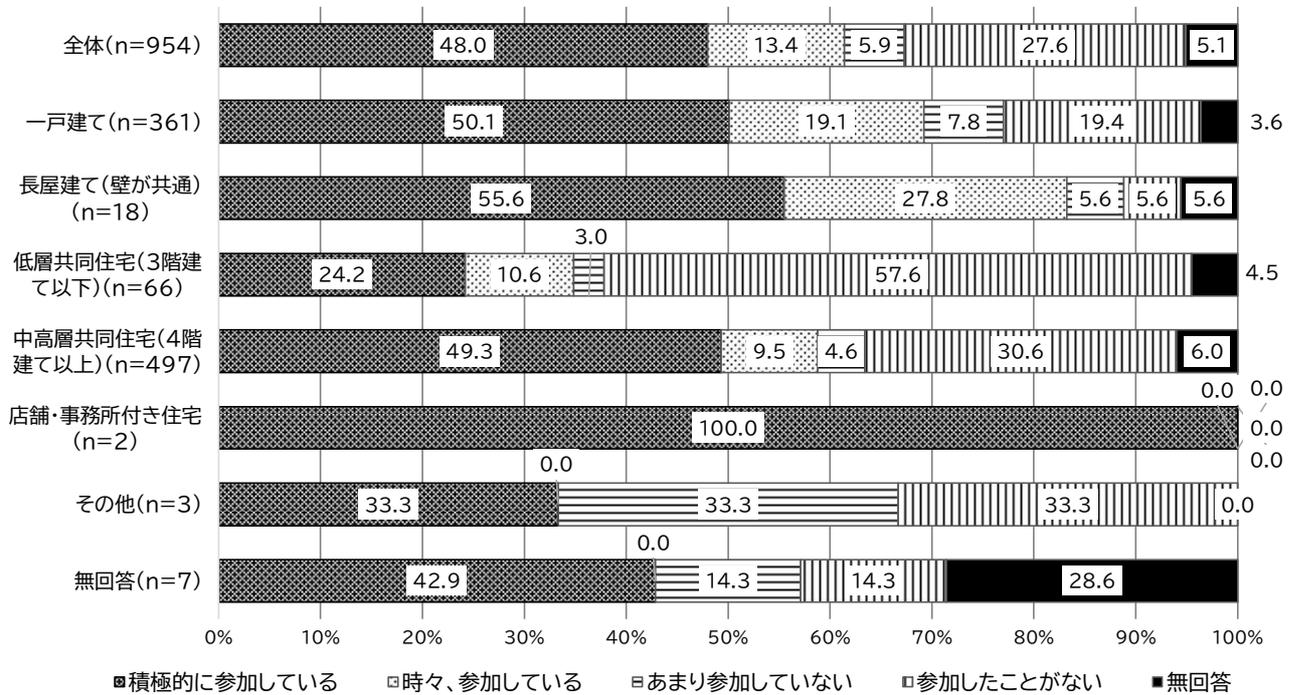
【年代別】

年代別では、「積極的に参加している」が 60 歳代以上で 56.1%、40～50 歳代で 44.4%、と最も多くなっています。10～30 歳代では「参加したことがない」が最も多く 47.4%です。



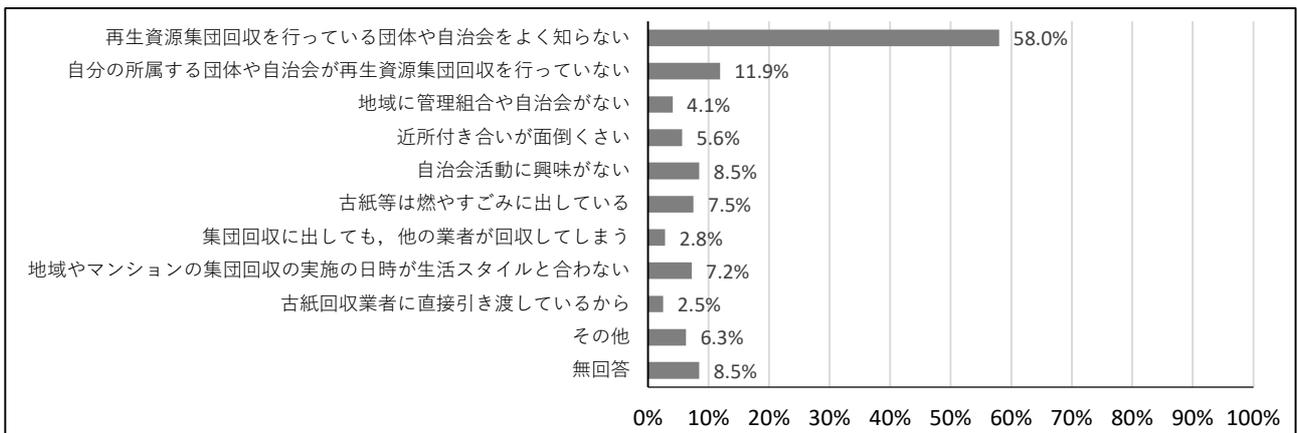
【住居形態別】

住居形態別では、低層共同住宅（3階建て以下）以外の住居形態で「積極的に参加している」が最も多く50%前後となっています。一方、「参加したことがない」が低層共同住宅(3階建て以下)で57.6%、中高層共同住宅（4階建て以上）で30.6%と他の住居形態に比べて多い傾向が見られます。



⑧-2 集団回収を利用しない理由

- ・上記⑦-1 で「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された方に参加しない理由お聞きしました。
- ・「再生資源集団回収を行っている団体や自治会をよく知らない」が58.0%と最も多く、「自分の所属する団体や自治会が再生資源集団回収を行っていない」が11.9%でした。



<その他の主な回答>

n=319、MA=392

- ・マンションの管理がしっかりしていて分別して出しているから。
- ・土曜日 8:30AM に回収しているため、朝ゆっくりしているので出さない。
- ・回収場所が交通量の多い道路横断しなければいけないので、高齢者には無理。
- ・回収場所が遠い。 など

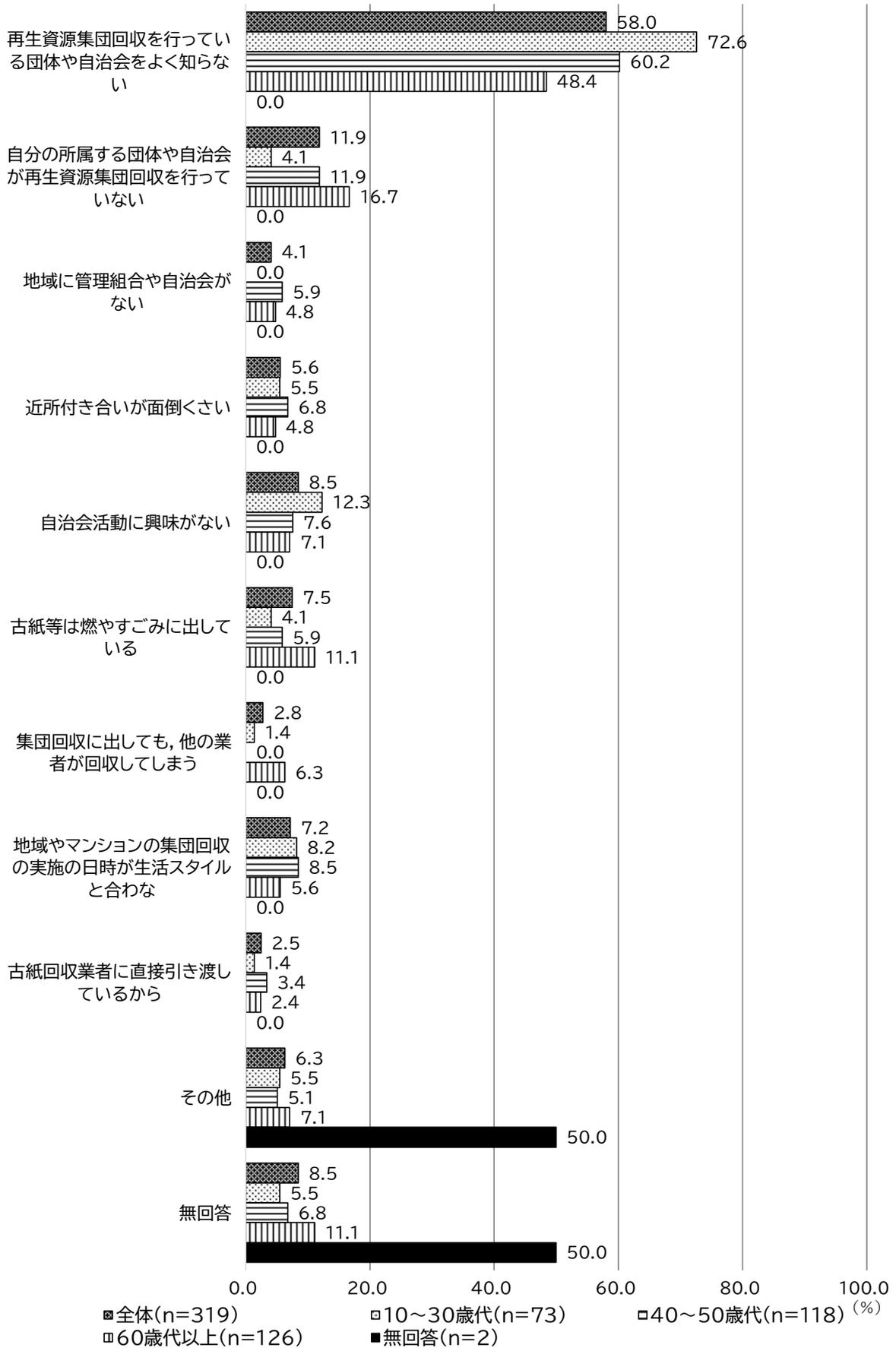
【地域別】

地域別では、「再生資源集団回収を行っている団体や自治会をよく知らない」が中央地域で 63.7%、山手地域で 56.5%、浜地域で 51.6%、北部地域で 50.0%と最も多くなっています。なお、北部地域では「自分の所属する団体や自治会が再生資源集団回収を行っていない」が 33.3%、南芦屋浜地域では「地域に管理組合や自治会がない」の回答が 23.1%見られます。



【年代別】

年代別では、「再生資源集団回収を行っている団体や自治会をよく知らない」が10～30歳代で72.6%、40～50歳代で60.2%、60歳代以上で48.4%といずれの年代でも最も多くなっています。



【住居形態別】

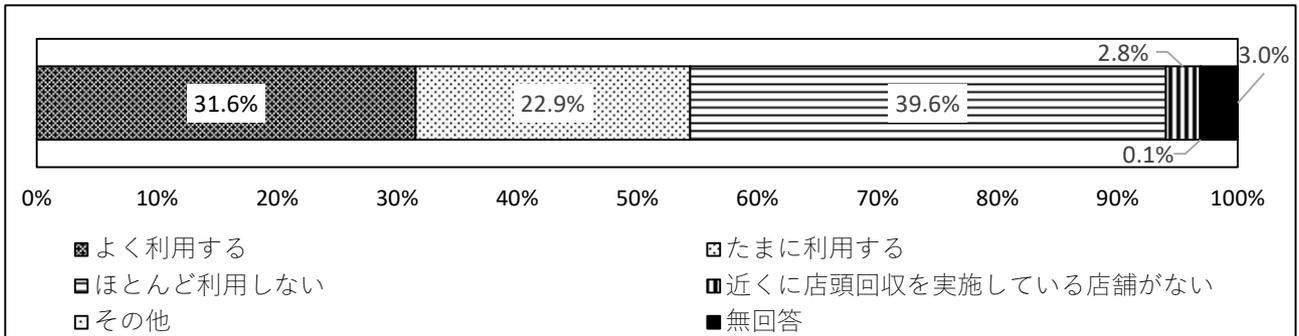
住居形態別では、「再生資源集団回収を行っている団体や自治会をよく知らない」が、長屋建てが100.0%、中高層共同住宅（4階建て以上）が63.4%、低層共同住宅（3階建て以下）が60.0%、一戸建てが48.0%と、いずれの住居形態でも最も多くなっています。



⑨ 店頭回収について

⑨-1 店頭回収（リサイクルBOXの利用)や販売店での回収の利用

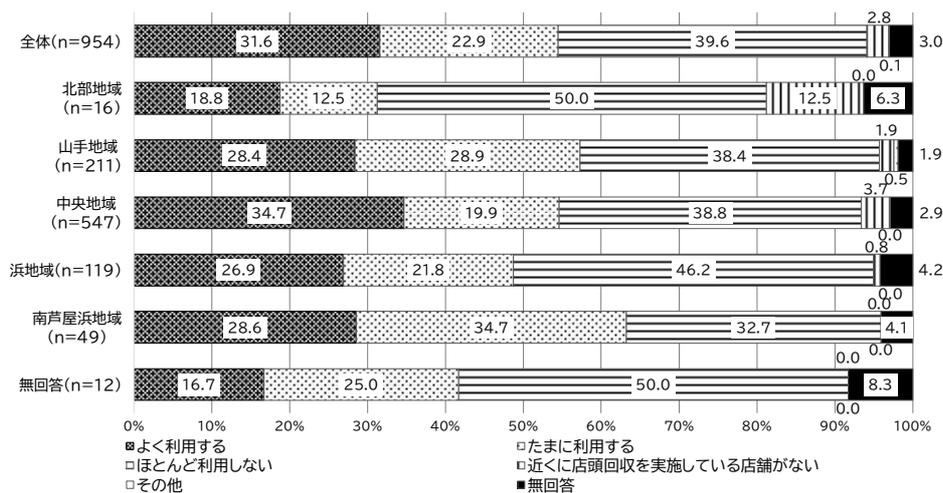
・「ほとんど利用しない」が 39.6%と最も多く、「よく利用する」が 31.6%、「たまに利用する」が 22.9%でした。



【地域別】

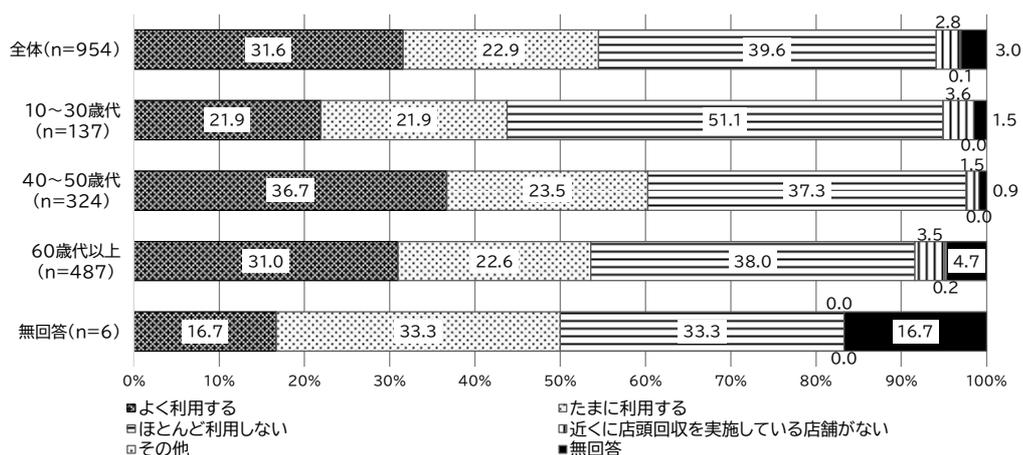
n=954、SA=954

地域別では、「よく利用する」「たまに利用する」を合わせた「利用する」が南芦屋浜地域で 63.3%、山手地域で 57.3%、中央地域で 54.6%、浜地域で 48.7%と最も多くなっています。一方、「ほとんど利用しない」が北部地域で 50.0%、浜地域で 46.2%と多くなっています。



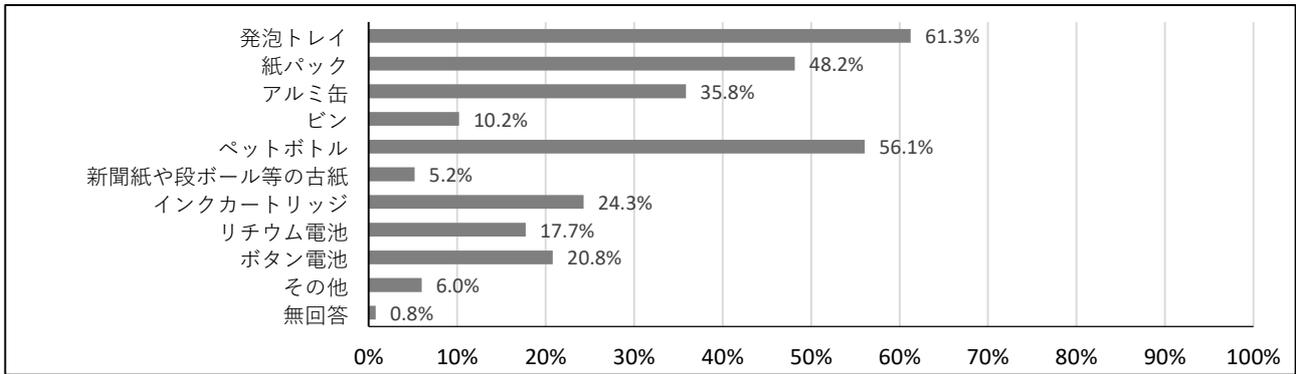
【年代別】

年代別では、「よく利用する」「たまに利用する」を合わせた「利用する」が 40～50 歳代で 60.2%、60 歳代以上で 53.6%、10～30 歳代で 43.8%となっています。10～30 歳代では「ほとんど利用しない」が 51.1%と他の年代に比べてやや多い状況です。



⑨-2 店頭回収や販売店での回収を利用する品目

- ・上記⑧-1で「よく利用する」「たまに利用する」と回答された方にお聞きしました。
- ・「発泡トレイ」が61.3%と最も多く、「ペットボトル」が56.1%、「紙パック」が48.2%でした。



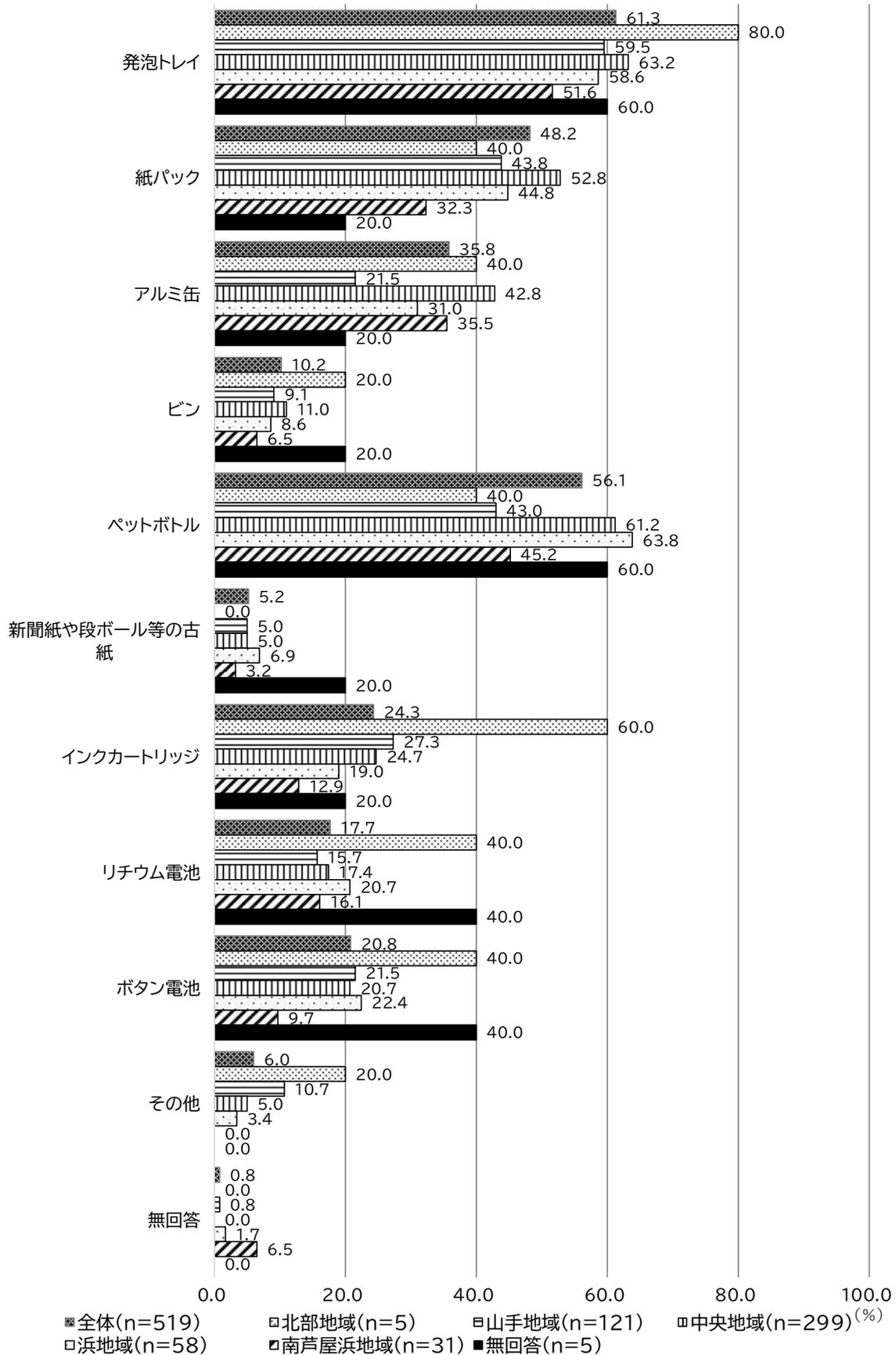
<その他の主な回答>

n=519、MA=1,486

- ・ペットボトルのキャップ
- ・卵のパック、透明のトレイ
- ・牛乳パック、紙袋
- ・蛍光灯 など

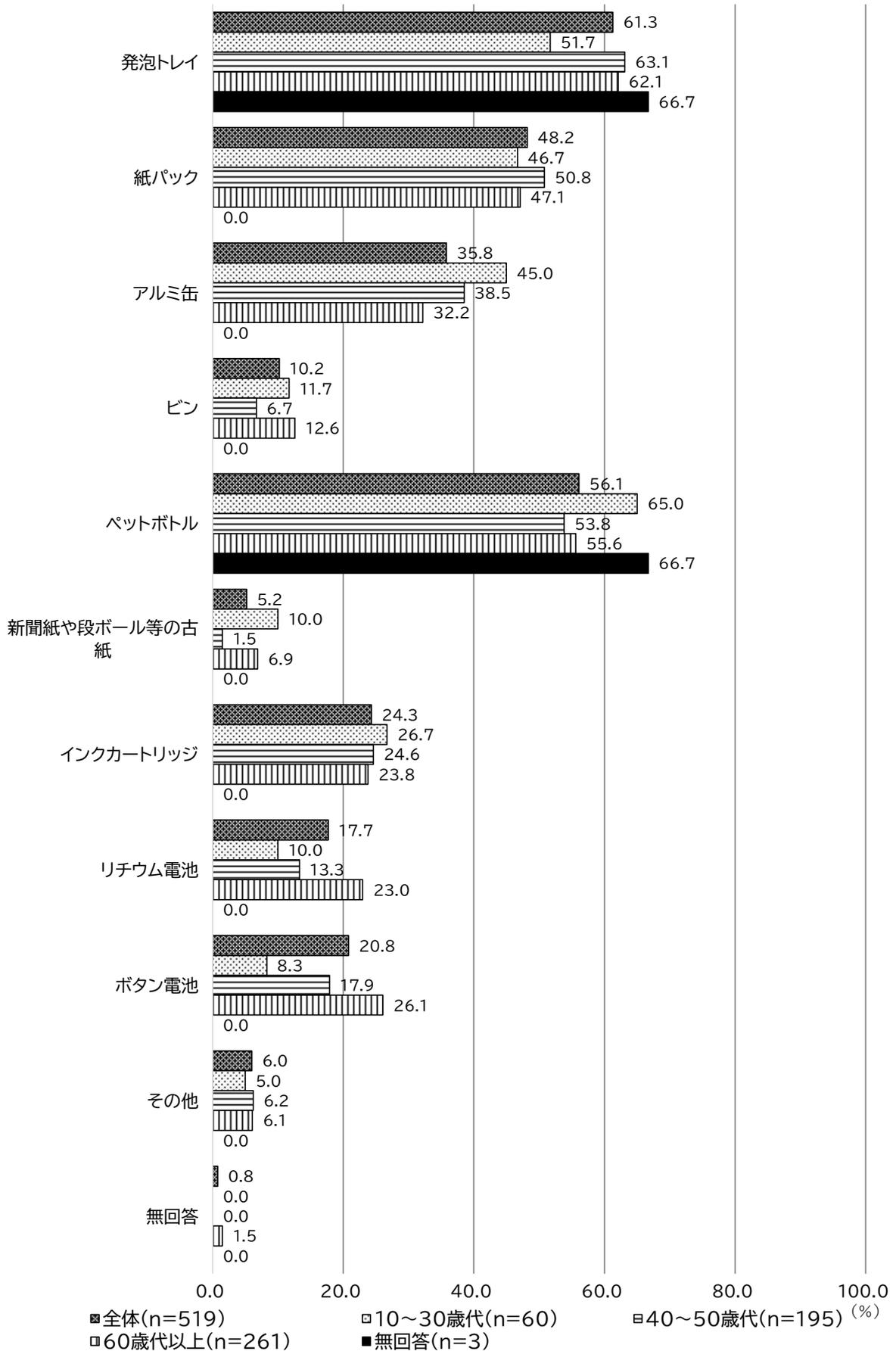
【地域別】

地域別では、「発泡トレイ」が北部地域で80.0%、中央地域が63.2%、山手地域が59.5%、南芦屋浜地域で51.6%が最も多くなっています。浜地域では「ペットボトル」が最も多く63.8%となっています。



【年代別】

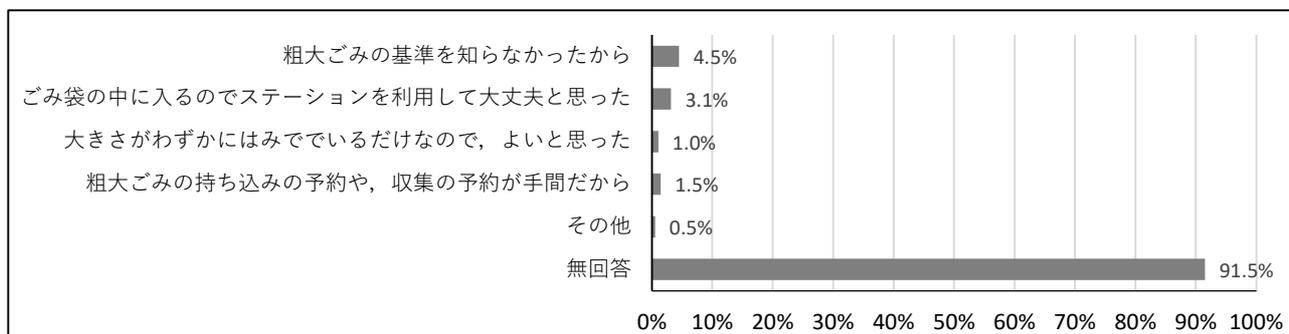
年代別では、10～30 歳代では「ペットボトル」が最も多く 65.0%となっています。また、「発砲トレイ」が 40～50 歳代で 63.1%、60 歳代以上で 62.1%と多い状況です。



⑩ 粗大ごみについて

⑩-1 粗大ごみを申込みせずに家庭ごみステーションに捨てた理由

- ・「粗大ごみの基準を知らなかったから」が 4.5%、「ゴミ袋の中に入るのでステーションを利用して大丈夫と思った」が 3.1%でした。



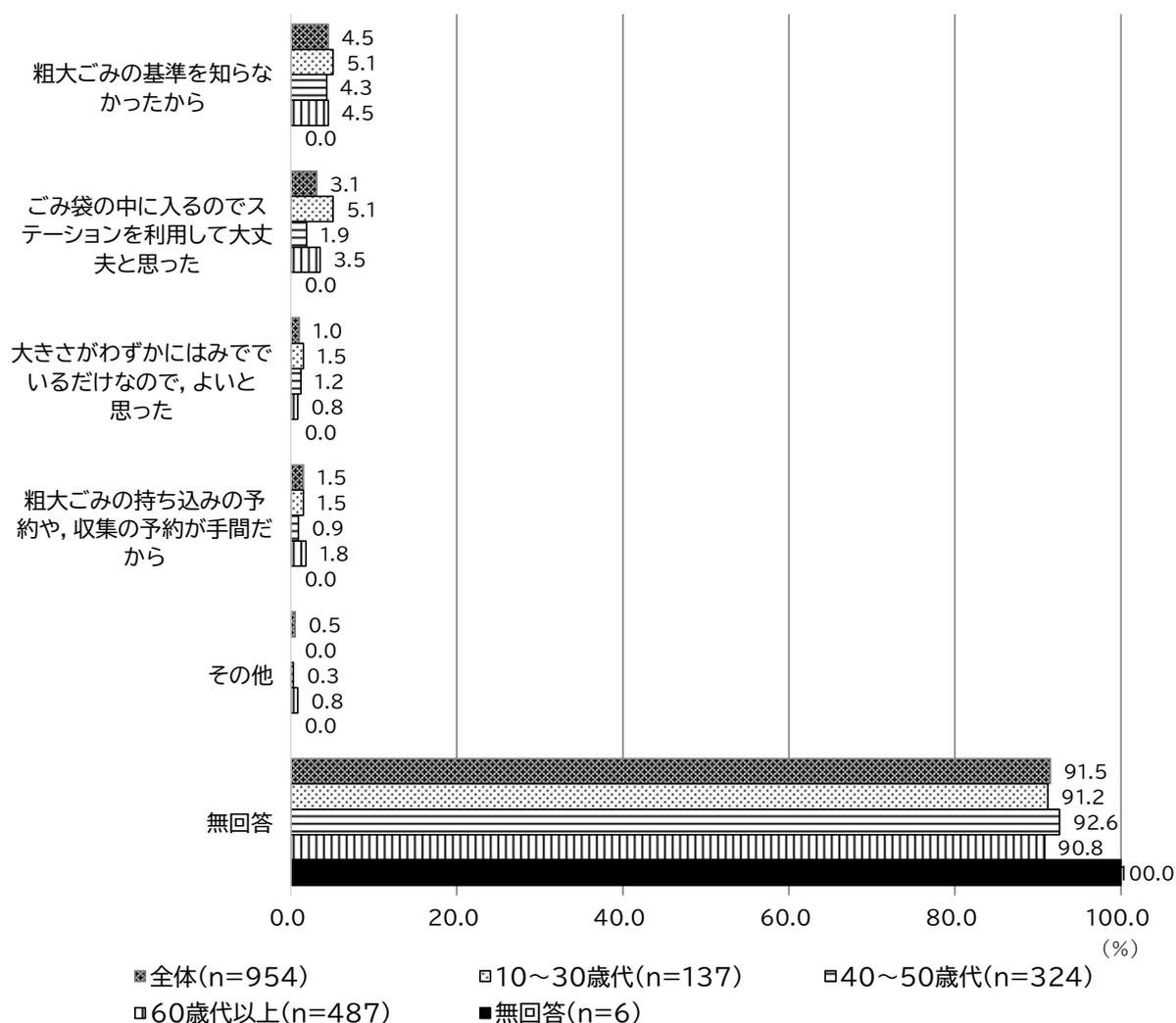
<その他の主な回答>

n=954, MA=975

- ・仕事をしている為、持ち込める時間帯に処理センターが開いていない。 など

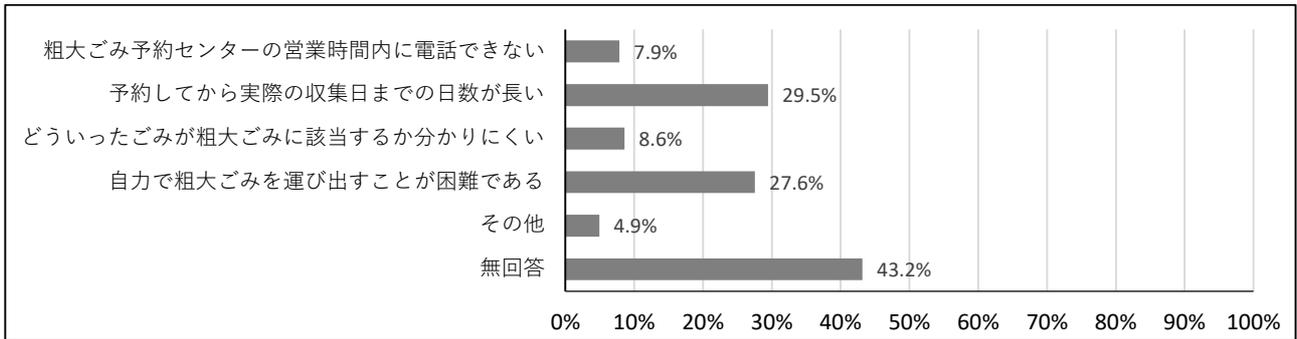
【年代別】

年代別では、「ゴミ袋の中に入るのでステーションを利用して大丈夫と思った」が 10～30 歳代で 5.1%、40～50 歳代で 4.3%、60 歳代以上で 4.5%となっています。



⑩-2 粗大ごみを捨てるうえで困ったこと

- ・「予約してから実際の収集日までの日数が長い」が 29.5%と最も多く、「自力で粗大ごみを運び出すことが困難である」が 27.6%でした。



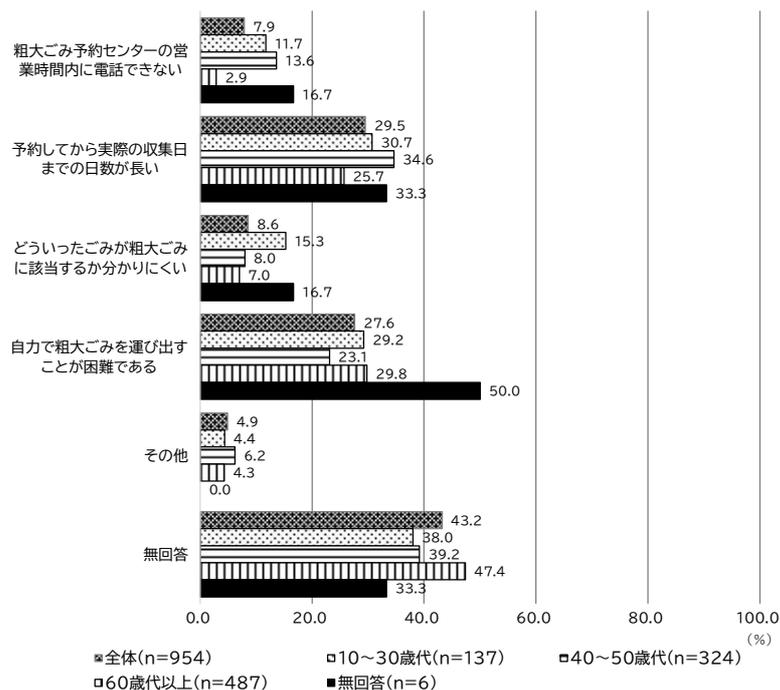
<その他の主な回答>

n=954、MA=1,160

- ・苦勞してゴミを出したのにだれかがそのゴミを持って行ってしまった。
- ・ネットで予約できない。シールを購入するのが面倒。
- ・シールに名前を書いて貼り付けるので、プライバシーが保てない。
- ・電話が繋がりにくい。
- ・シフト制の仕事のため。収集日、時の調整がむずかしい。
- ・当日の電話予約ができない。
- ・予約なしでいつでも持ち込みできるようにしてほしい。
- ・持ち込みした方が高く（料金）なる場合もある。
- ・遠くて車が無いといけない。 など

【年代別】

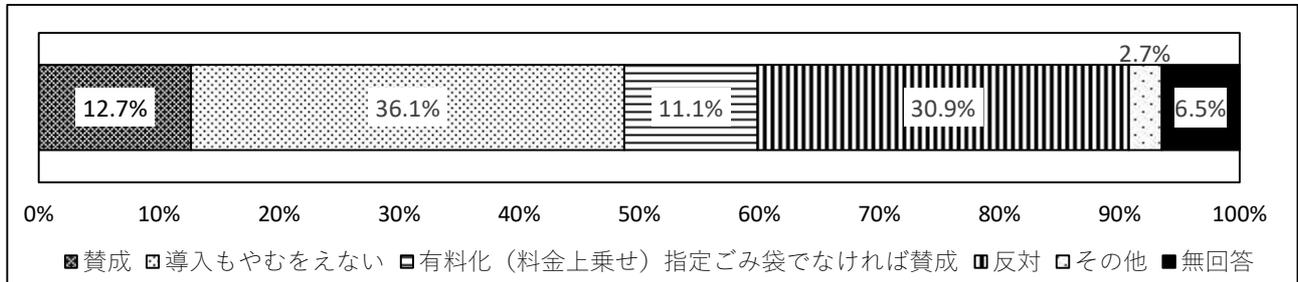
年代別では、10～50 歳代では「予約してから実際の収集日までの日数が長い」が最も多く 10～30 歳代では 30.7%、40～50 歳代で 34.6%、60 歳代以上では「自力で粗大ごみを運び出すことが困難である」が最も多く 29.8%となっています。



(4) 指定ごみ袋の導入について

① 指定ごみ袋の導入について

・「賛成」「導入もやむをえない」「有料化（料金上乘せ）指定ごみ袋でなければ賛成」を合わせて 59.9% が賛同、「反対」は 30.9% でした。



n=954、SA=954

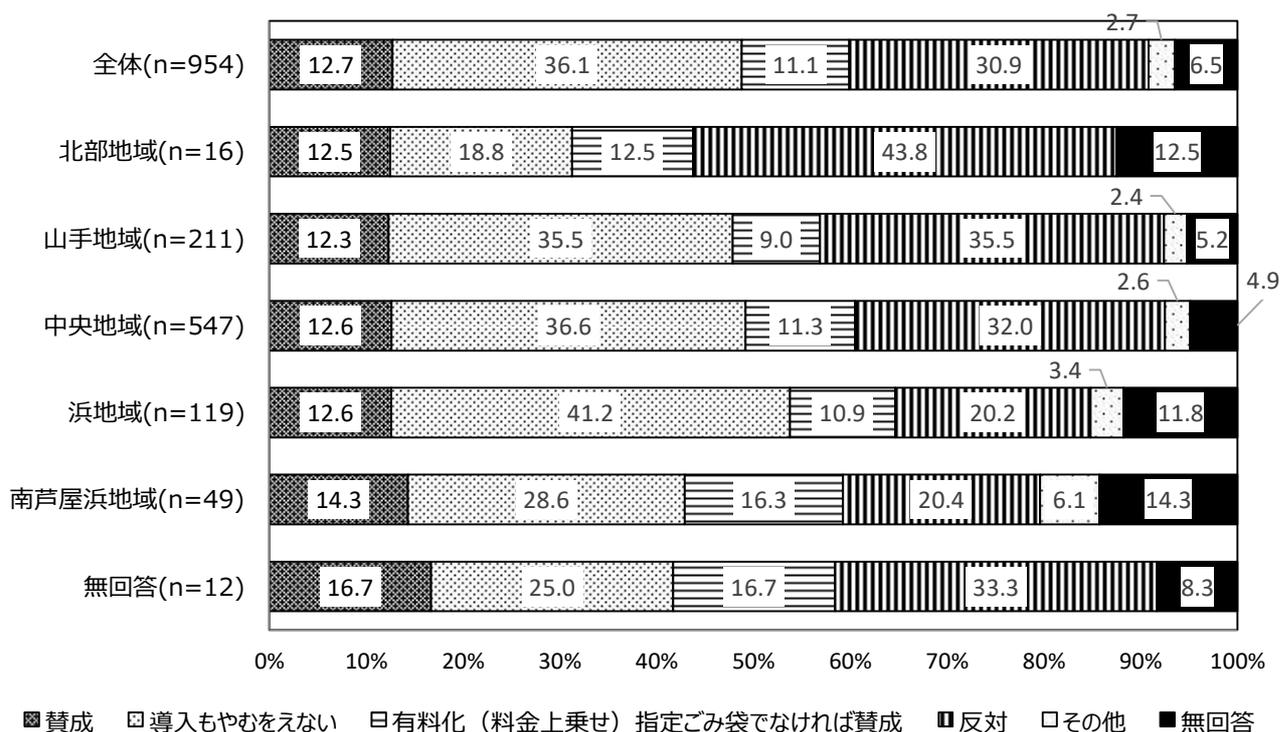
<その他の主な回答>

- ・介護ゴミが丸見えは困ります。
- ・導入するとしたら、今手持ちの指定ごみ袋以外を使える等の期間がほしい。
- ・ごみ分別を目的にするなら、ごみ袋を指定する事では解決にならないのではないかと
- ・パイプラインへの投入時は対象外なのか など

※以下では「賛成」「導入もやむをえない」「有料化（料金上乘せ）指定ごみ袋でなければ賛成」を含めて「賛同」とカウントしています。

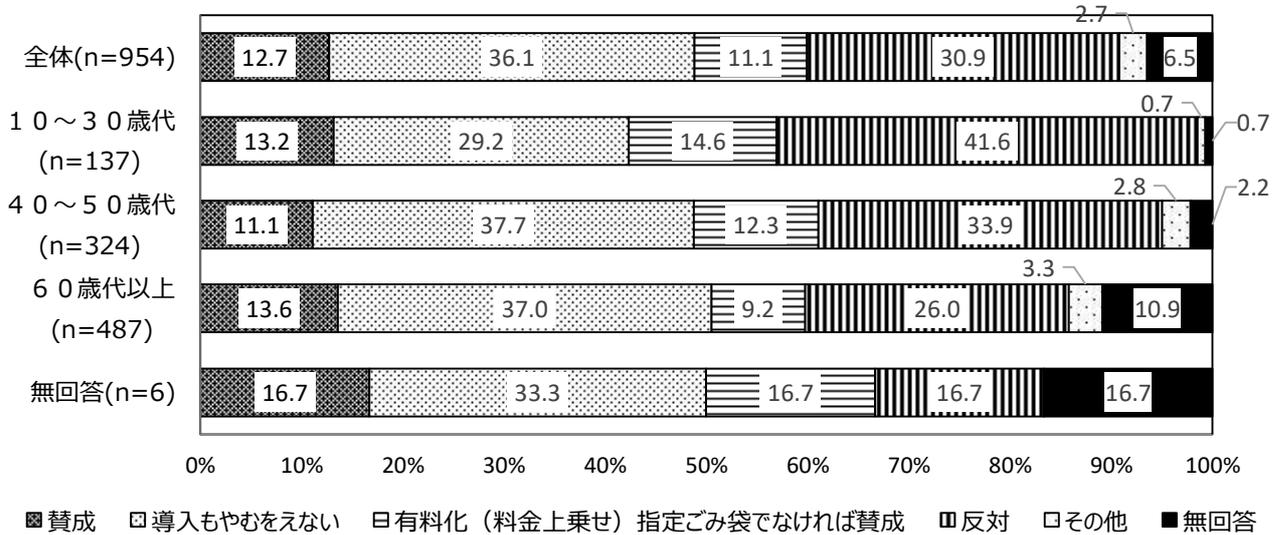
【地域別】

地域別の賛同者の割合をみると、浜地域が 64.7%、中央地域が 60.5%、南芦屋浜が 59.2%、山手地域が 56.8%、北部地域が 43.8% であり、南部地域の賛同者が多い傾向となっています。



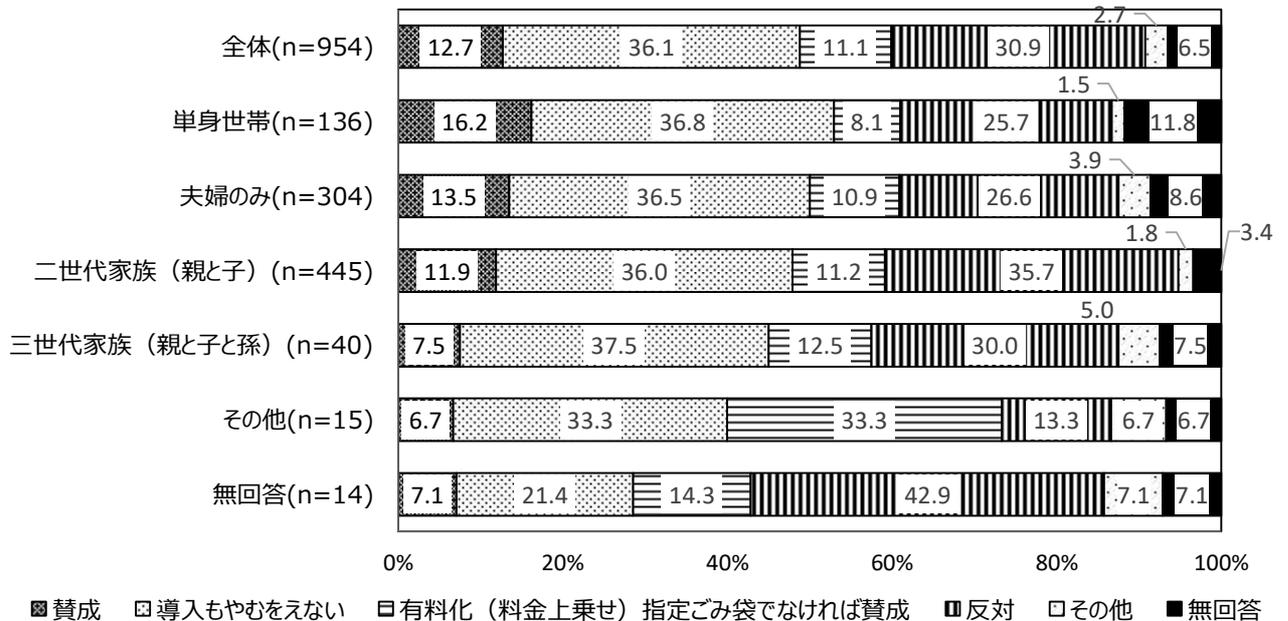
【年代別】

年代別では、いずれの年代も60%前後が賛同しています。「賛成」と「導入もやむをえない」を加えると、年齢層が高いほど賛同者が多くなっています。10～30歳代の若年層は反対が41.6%であり、最も高い割合を占めています。



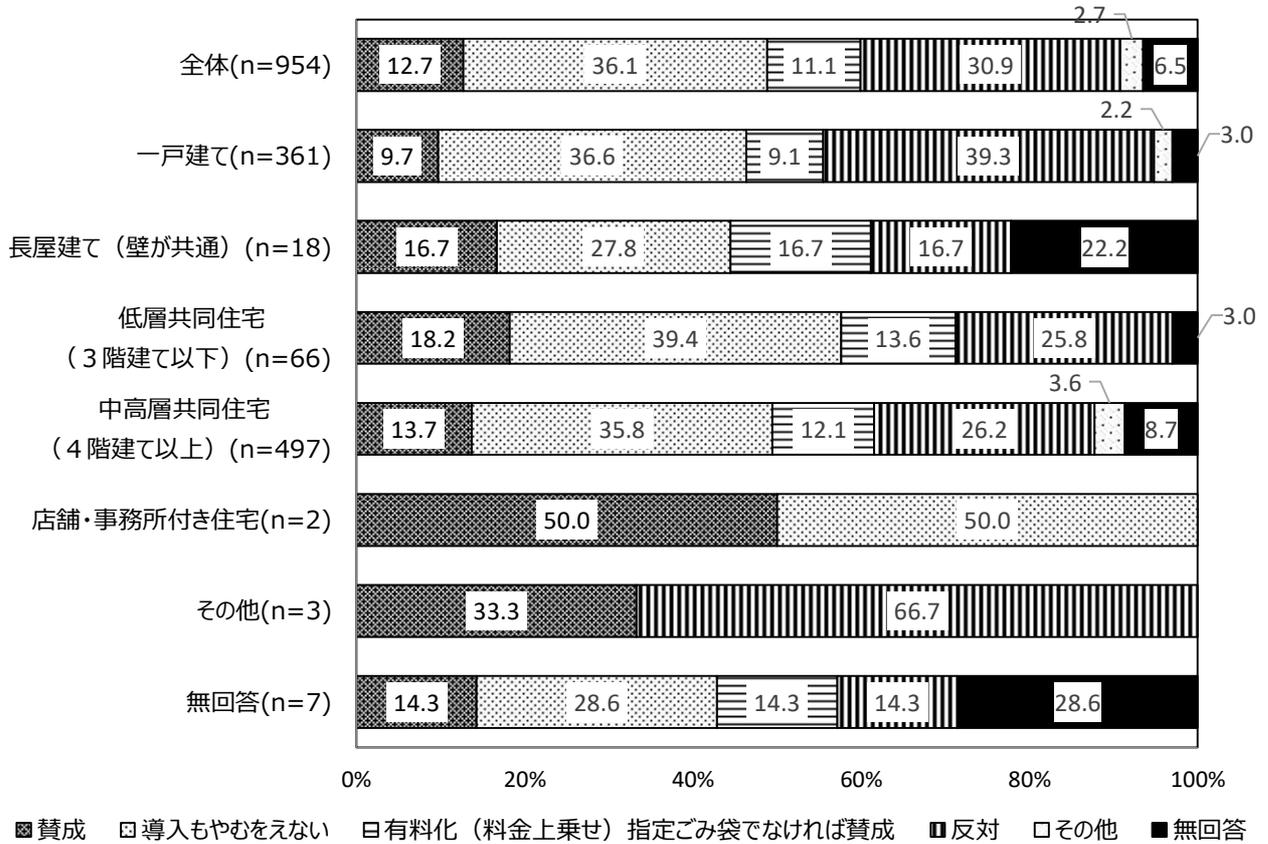
【家族構成別】

「単身世帯」の賛同が61.1%と最も多く、「夫婦のみ」が60.9%、「二世世代家族 (親と子)」が59.1%であり、いずれも60%前後が賛同しています。「三世世代家族 (親と子と孫)」が57.5%とやや低い値を示しています。



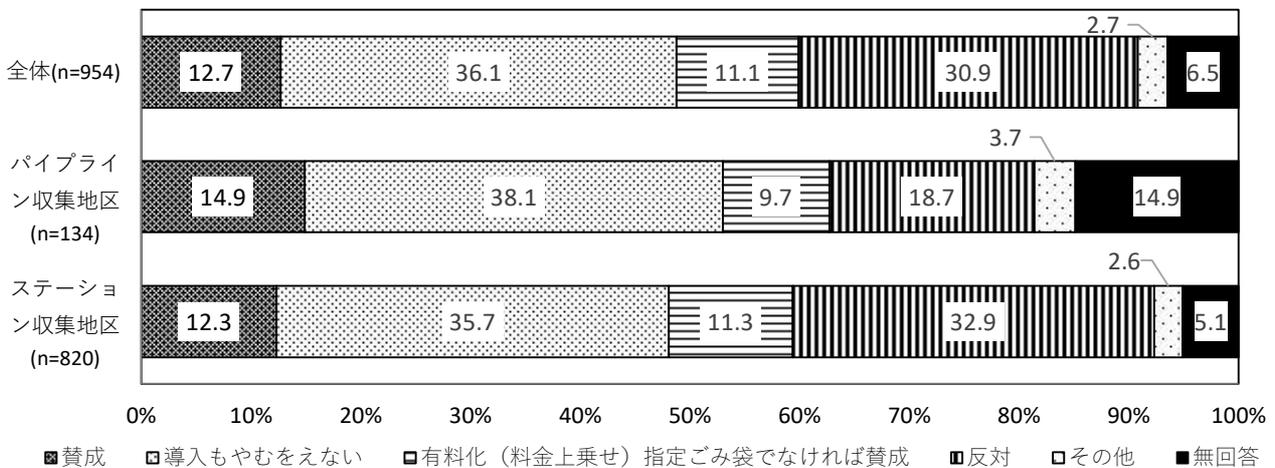
【住居形態別】

地域別の賛同者の割合をみると、「低層共同住宅（3階建て以下）」が71.2%と最も多く、「中高層共同住宅（4階建て以上）」が61.6%、「長屋建て（壁が共通）」が61.2%となっています。「反対」は「一戸建て」が39.3%と最も高くなっています。



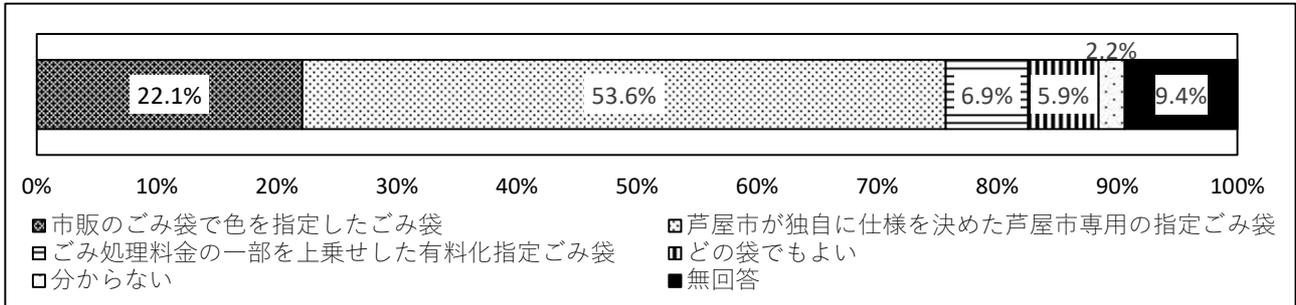
【収集方式別】

収集方式別の賛同者の割合をみると、パイプライン収集地区は62.7%、ステーション収集地区は59.3%が賛同しており、パイプライン収集地区の賛同がやや高くなっています。



②-1 導入するとした場合、どの指定ごみ袋がふさわしいか

- ・上記①で「賛成」「導入もやむをえない」「その他」を選ばれた方にお聞きしました。
- ・「芦屋市が独自に仕様を決めた芦屋市専用の指定ごみ袋」が 53.6%と最も多く、「市販のごみ袋で色を指定したごみ袋」が 22.1%でした。



n=597、SA=597

②-2 【自由記述】 上記②-1 で選ばれたごみ袋の選択理由があれば、教えてください。

<一部抜粋>

■ 「市販のごみ袋で色を指定したごみ袋」の選択理由

- ・現在でも透明の市販ごみ袋を使用している。分別もきちんと行っている。未分別のゴミの混入等は個人のモラルの問題であり、意識の低い人は、どんな袋を指定してもルールを守らない。

■ 「芦屋市が独自に仕様を決めた芦屋市専用の指定ごみ袋」の選択理由

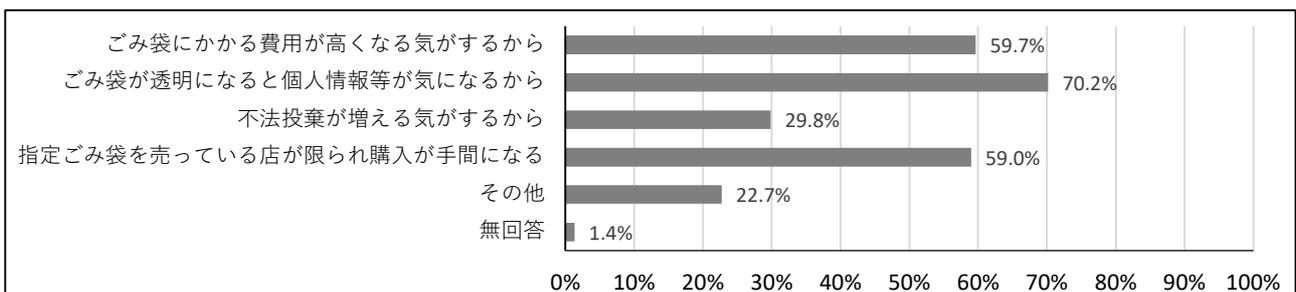
- ・分別が分かりやすいと思う。処理して下さる方の仕事の軽減になると思う。
- ・これからの時代は、このようになっていく。ただし、費用は少しでも押えたい。
- ・ステーションに積まれた状態の見た目に統一観があって、みっともなさが軽減される。

■ 「ごみ処理料金の一部を上乗せした有料化指定ごみ袋」の選択理由

- ・ゴミを捨てる事に対して市民がコスト意識を持つべきだと考えるから。 など

③-1 指定ごみ袋導入に反対される理由

- ・上記①でごみ袋を指定することに反対を選ばれた方にお聞きしました
- ・「ごみ袋が透明になると個人情報等が気になるから」が 70.2%と最も多く、「ごみ袋にかかる費用が高くなる気がするから」が 59.7%、「指定ごみ袋を売っている店が限られ購入が手間になる」が 59.0%、「不法投棄が増える気がするから」が 29.8%でした。



n=295、MA=716

<その他の主な回答>

- ・現在たくさんごみ袋のストックがあるため、困ります。
- ・ごみ出しがよけい時間かかりそう。
- ・介護用のごみは目立たないように出したいから。
- ・袋を変える事で、分別の促進になると思われない。
- ・減量化になるとは思えない。市販のゴミ袋にゴミを入れて指定のゴミ袋に入れて捨てれば結局中身は見えない。
- ・住んでいる地区ではカラスによる被害を防ぐためにダンボールに詰めて捨てるので指定ごみ袋を導入するとカラスによる被害が多発するから（ネットは役に立たない。なぜならカラスが口ばしでネットをはがすから）。
- ・有料化は実質市税 UP である。
- ・レジ袋のない時は指定ゴミ袋を買えばよいと思うがレジ袋は沢山あるのに使用しないで捨てるのはと。ゴミ袋そのものが資源の無駄使いになるから。
- ・老人が多いのでゴミを出せない人が多くなる。ゴミ屋敷が増えそうな気がするから。
- ・ごみ袋うんぬんより、芦屋浜のパイプラインの固定費、修理費問題の方が大問題！ など

③-2【自由記述】指定ごみ袋導入に反対の場合、分別の促進、減量の推進、ごみ捨てマナーの向上を進めるには、どのようにすれば良いと思いますか？あなたのアイデア、考え、提案を教えてください。

<一部抜粋>

■ 分別について分かりやすく伝える工夫等について

- ・単身者や子どもなど老人も含め、イラストや文字を大きめに
- ・ごみステーション、チラシ、掲示板にゴミの分別捨て方、収集の方がたすかる捨て方など参考になることを明示

■ 資源ごみの回収頻度等について

- ・ビン、缶、ペットの収集日を増やす
- ・違反のごみは回収しない以外向上しない

■ 市民・地域の協力・マナー向上、販売店との連携、指導員等の配置等について

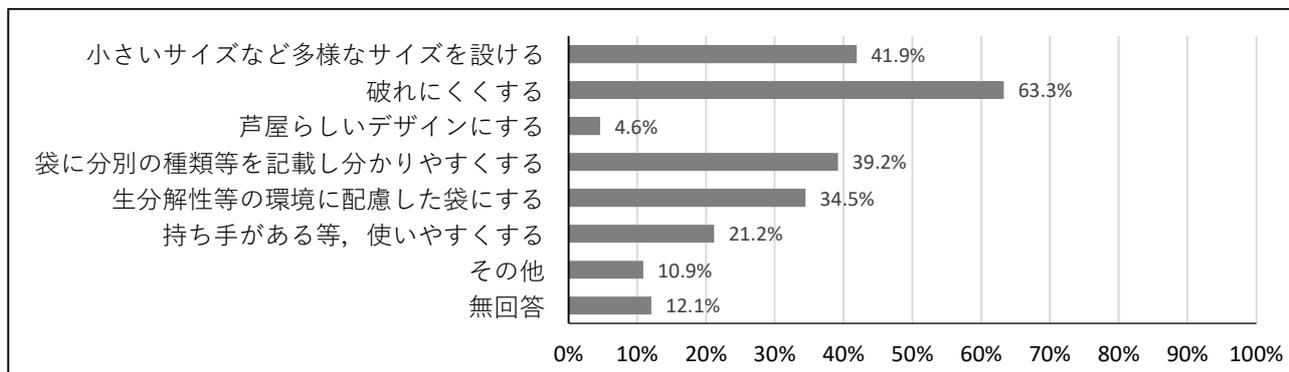
- ・地域での再生資源集団回収制度は、よいアイデアであると思う
- ・個人個人のマナー向上啓発
- ・スーパーのリサイクル BOX や集団回収をもっと利用する
- ・各ごみステーションに指導員が立つ
- ・ルールが守れない個別の収集所に対して監視や指導を行う
- ・防犯カメラの設置

■ 環境教育等の推進について

- ・子供のうちから、ごみ分別の意識を持たせる

④ 指定ごみ袋を導入するうえで考慮すべき事項

- ・「破れにくくする」が 63.3%と最も多く、「小さいサイズなど多様なサイズを設ける」が 41.9%、「袋に分別の種類等を記載し分かりやすくする」が 39.2%でした。



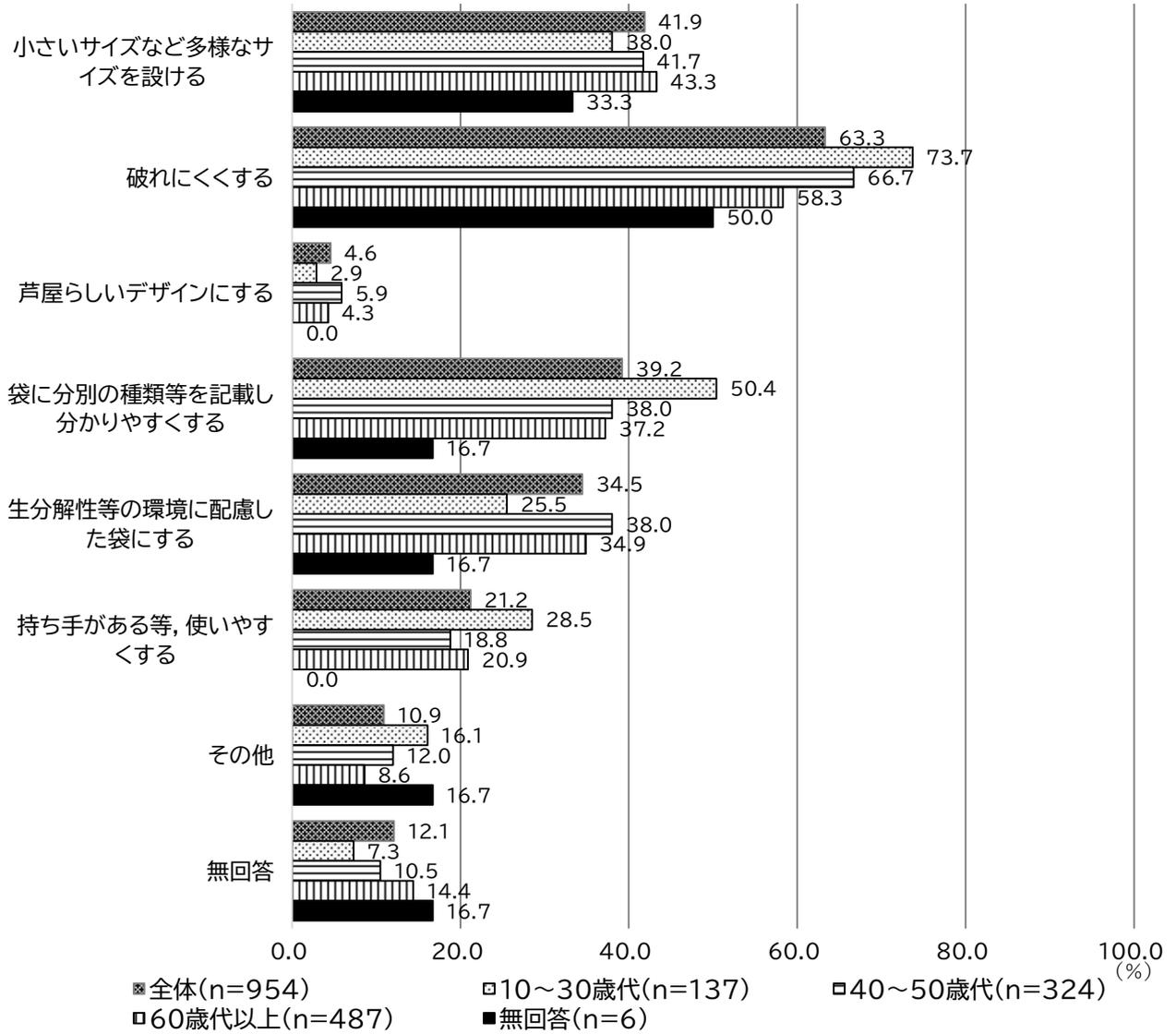
<その他の主な回答>

n=954、MA=2,172

- ・やはり価格を抑えるのも重要かと思います。
- ・カラス対策のできる袋にする。
- ・購入しやすいどこでも買える、いつでも買える。
- ・中身が見えにくくし、個人情報等を守れるものに。
- ・袋を閉めやすい工夫をしてほしい。
- ・ライフスタイルに合わせてサイズが選べる様にする。
- ・透明性の高い業者選定が必要。
- ・ネットで購入できる様にする。
- ・浜の方の街はパイプライン投入口があり、ごみ袋を利用する事なくごみを出せるのに、どうして他の街だけごみ袋を有料で買うのか。指定ごみ袋を導入するのであれば、最低限の枚数は市から配給すべき。
- ・市民以外購入できない様にして欲しい。
- ・市民に指定を強要するなら値段を安くすべき。スーパーで安く大量に販売されているごみ袋とプラ対策観点でどこが違うのか説明がない。 など

【年代別】

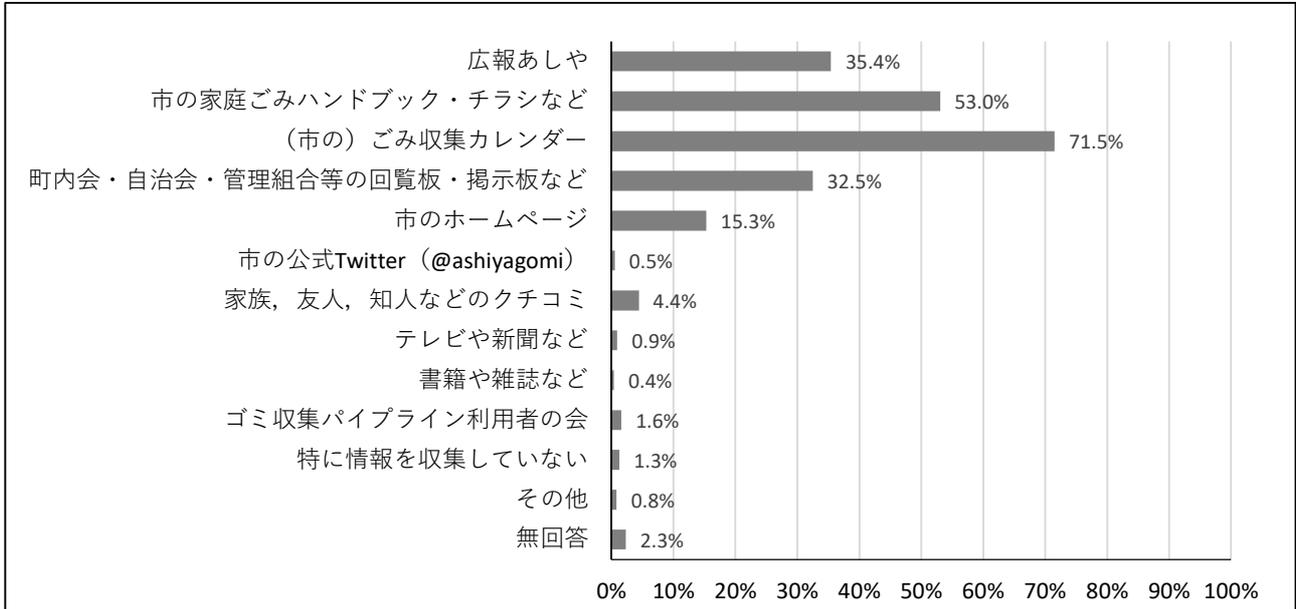
年代別では、いずれの年代でも「破れにくくする」が最も多く、10～30歳代で73.7%、40～50歳代で66.7%、60歳代以上で58.3%となっています。



(5) その他

① ごみの分別区分等、ごみの情報を入手する方法

・「(市の) ごみ収集カレンダー」が 71.5%と最も多く、「市の家庭ごみハンドブック・チラシなど」が 53.0%、「広報あしや」が 35.4%でした。



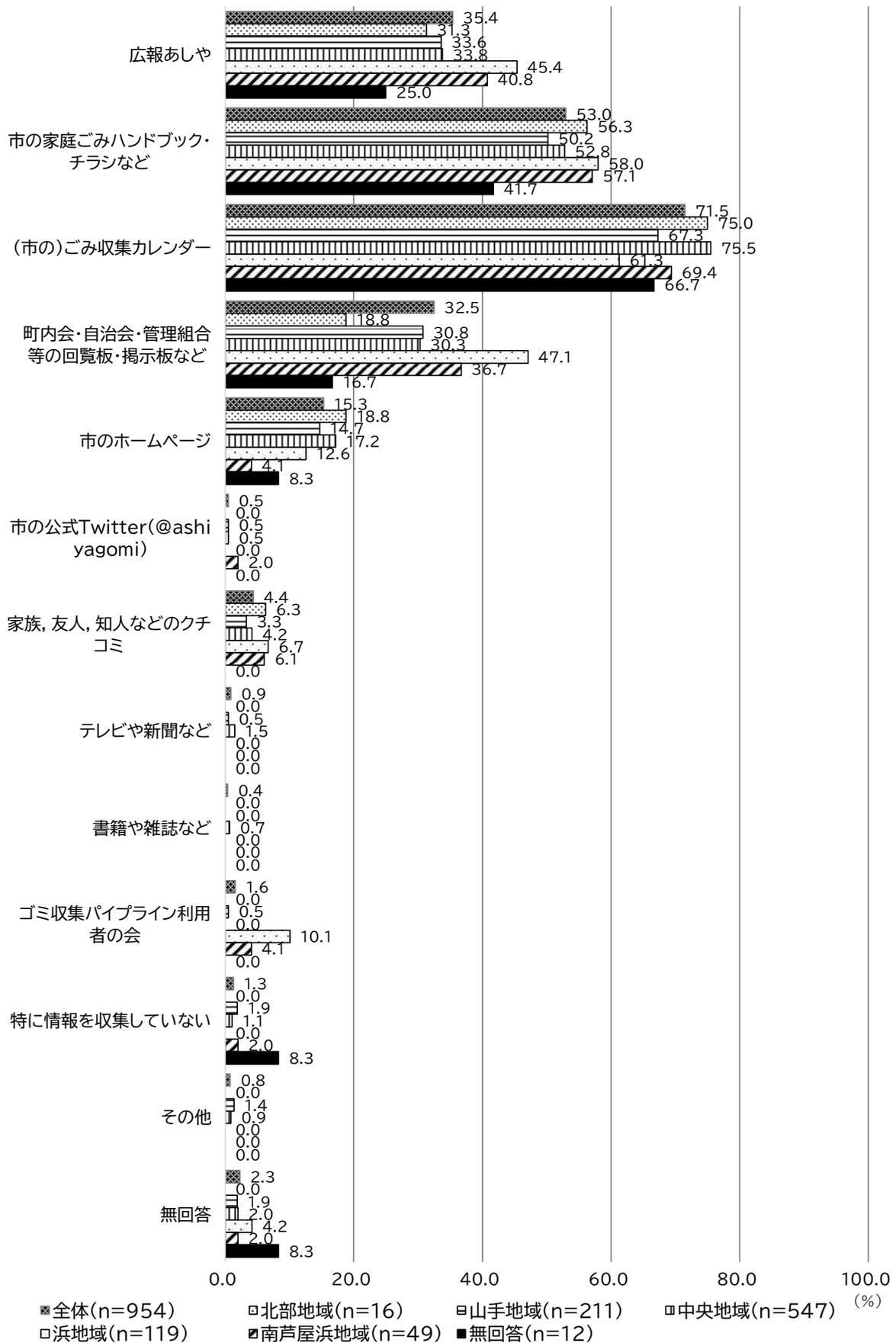
n=954、MA=2,099

<その他の主な回答>

- ・マンションのごみ収集カレンダー
- ・配布される自治会カレンダー など

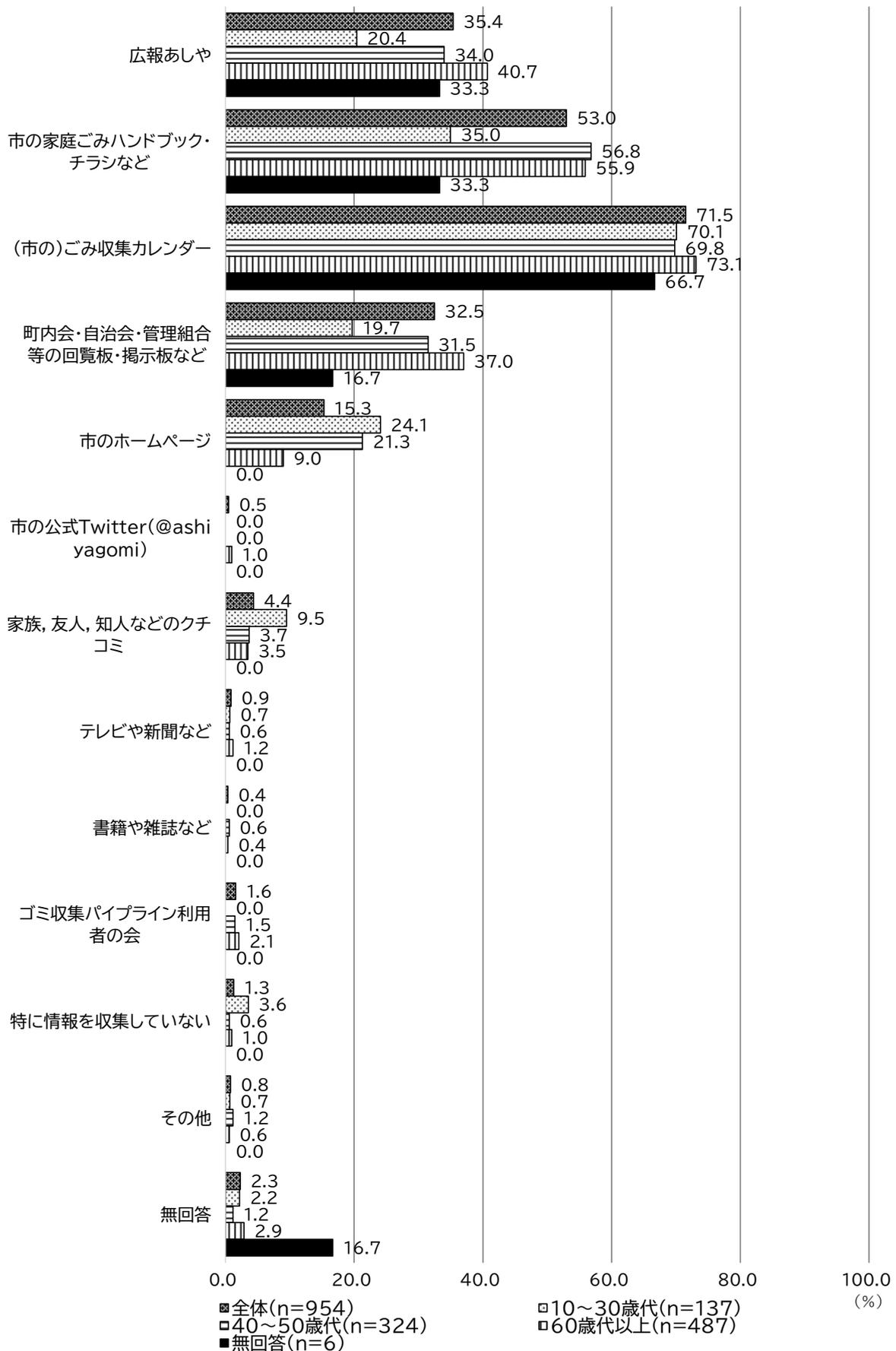
【地域別】

地域別では、いずれの地域でも「(市の)ごみ収集カレンダー」が最も多く、北部地域で75.0%、山手地域で67.3%、中央地域で75.5%、浜地域で61.3%、南芦屋浜地域で69.4%となっています。



【年代別】

年代別では、いずれの年代でも「(市の)ごみ収集カレンダー」が最も多く、10～30歳代で70.1%、40～50歳代で69.8%、60歳代以上で73.1%となっています。



② 【自由記述】ごみの情報を得るために、もっと充実させたり、必要なもの。

<一部抜粋>

- ・アプリの導入
- ・ごみ収集カレンダーが助かっています
- ・再生資源集団回収組織のMAP化（HP）
- ・HPを分かり易くして、分別の種類や収集日のページがすぐ出るようにする
- ・生ごみの水切りの徹底情報
- ・ゴミ収集の方が望まれる捨て方を教えてほしい など

③ 【自由記述】あなたが販売店等で回収して欲しい資源ごみはありますか？

<一部抜粋>

- ・缶
- ・ビン
- ・ペットボトル
- ・ペットボトルのキャップ
- ・卵パック
- ・食品トレー
- ・プラスチックごみ
- ・段ボール
- ・新聞紙、雑誌、本、雑がみ、チラシ類
- ・使用済み食用油
- ・小型家電
- ・携帯電話、電子機器
- ・パソコン
- ・インクカートリッジ
- ・電池類
- ・電球、蛍光灯
- ・古着
- ・大型家具
- ・れんが、ブロック、石 など

(6)【自由記述】本市のごみに関して、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

<一部抜粋>

■ 指定ごみ袋導入に賛成

- ・他に比べてごみすての分別が甘い
- ・有料化しないとごみは少なくなるとは思えません
- ・中が全く見えないゴミが怖いです。早急に改善するべきだと思います。

■ 指定ごみ袋導入に反対

- ・わざわざ指定ゴミ袋を買う必要はないと思う。無駄と思う各個人がマナーを守れば良い
- ・透明か半透明の市販で良いことにしてもらえると、他の用途にも使えてありがたい
- ・黒い袋のままが良い

■ ごみ袋の仕様等について

- ・指定ごみ袋化になって、ルールを守らず回収できなかったごみはどうなるのか？近くのマンションでスーツケースを出して、回収できなかったスーツケースがかなり長い間放置されていて、マンションの管理人の方が処理されていました。罰金、罰則、大変悪質の場合、氏名公表等いるのではと思います。
- ・つくるのであれば、スーパーのビニール袋みたいな手持ち部分を付けてほしい。
- ・指定ごみ袋にするなら 0.03 か 0.025mm 以上の厚さがよいです（神戸市はこれくらい？）。0.02 はやぶれます。

■ ごみ袋の導入時期について

- ・もし指定ゴミ袋を導入するのなら、早めの告知及び導入まで余裕をもった期間を設けていただきたいです。現在のゴミ袋のストック分がムダになるのも気になります。

■ プライバシーについて

- ・透明のごみ袋はプライバシーも気になります
- ・個人情報漏洩や生活用品が見えない形で進めて欲しいと思います

■ 分別について

- ・プラ容器の分別回収が導入された場合は、週 2 回程度の回収が必要かと思います
- ・プラスチックの分別とリサイクルは早急に進めてほしい
- ・缶、ビンの収集日が少ない。缶、ビンともに毎週収集にしてほしい。

■ その他

- ・ゴミ問題と同時にカラス対策についても積極的に取り組んで欲しい。カラスのフンや威嚇に悩まされている。
- ・日頃は、ゴミ収集で私達の周辺を美しくして下さり本当に感謝しています。マナー違反の人達もいますので、申し訳なく思います。住民同志で注意しながら片付けを手伝っております。 など